

矢上高校将来ビジョン

～ ふるさを思い 地域の未来をつくる 人づくり ～



平成27年3月

矢上高校将来ビジョン策定委員会

はじめに

矢上高校将来ビジョン策定委員会
委員長 作野 広和

平成 26 年 5 月、増田寛也元総務相ら民間有識者でつくる日本創成会議は、平成 22 年から 30 年間で 20～30 歳の女性の数が、半減する自治体を「消滅可能性都市」と位置づけました。このことを契機として、全国の自治体は一斉に人口減少対策を政策課題として高く掲げました。しかし、中国地方では昭和 30 年代の後半からはじまった過疎化への対策は、半世紀以上にわたって行ってきたおり、人口減少対策には多くの実績があります。そもそも、急激な人口減少と高齢化で危機に直面するのは、右肩上がりしか経験したことのない大都市圏です。とりわけ、医療・介護・福祉の面については、現状の施設や人材のみでは対応できないことは明白であり、大都市圏においてこそ大きな混乱が発生すると思われまます。

一方、邑南町をはじめとした中山間地域においても、人口減少、とりわけ子どもの数が減少していることは事実です。その結果、学校が極小規模となり、小学校を中心に学校再編が加速化しています。そして、その流れは中学校や高等学校にまで及んできました。島根県立矢上高等学校は、明治時代に端を発し、昭和 23 年に設置された伝統ある学校です。邑南町の最高学府として、これまで長年にわたって多くの卒業生を輩出してきました。また、普通科のみならず産業技術科を有する矢上高校は、邑南町における職業人材の育成にも大きく寄与してきました。さらに、生徒や教職員の存在は、学術、文化・芸術、スポーツ等において、地域に与えてきた影響は計り知れません。このように、連綿と培われてきた学舎を存続させていくことについては、論を待たないと思われまます。

そこで、平成 26 年度に 17 名の委員からなる、矢上高校将来ビジョン策定委員会が組織され、矢上高校の永久存続のために必要な目標や具体的な施策について検討を重ねて参りました。委員会では机上の議論に終始することのないよう、努力と工夫をして参りました。具体的には、委員で矢上高校の見学や授業参観を行ったり、生徒から意見を聴取したり、矢上高校の行事に参加したりしました。短い期間の検討でしたが、委員会では活発な議論が行われ、平成 27 年度から 5 年間で言うべき施策をまとめることができました。

本ビジョンは「学び」と「育ち」の主体である矢上高校と、「地域」をリードする邑南町と邑南町住民が協働で作らあげた、渾身の内容となりました。ビジョンの基本理念は「ふるさとを思い地域の未来をつくる 人づくり」としました。美しい自然に恵まれ、すばらしい人々が居住する「ふるさと」で学んだ生徒たちは、卒業後、様々な進路をとることでしょう。最終的に、世界をまたにかけて活躍する人もいれば、地元に住んで「ふるさと」を支える人もいるでしょう。しかし、いかなる地域にいようと、矢上高校で培った英知と技能を活かして、地域課題を解決できる人材を育成することが、矢上高校のミッションであると判断しました。本ビジョンにはこのような理念を実現するために、5 つの基本方針と 4 つの重点目標をはじめ、多くの具体的施策が記されています。これらを一つひとつ実現することで、矢上高校の魅力が確実に向上し、「あこがれ」の存在になると確信しております。

はじめに

矢上高校将来ビジョン策定委員会
委員長 作野 広和

平成 26 年 5 月、増田寛也元総務相ら民間有識者でつくる日本創成会議は、平成 22 年から 30 年間で 20～30 歳の女性の数が、半減する自治体を「消滅可能性都市」と位置づけました。このことを契機として、全国の自治体は一斉に人口減少対策を政策課題として高く掲げました。しかし、中国地方では昭和 30 年代の後半からはじまった過疎化への対策は、半世紀以上にわたって行ってきたおり、人口減少対策には多くの実績があります。そもそも、急激な人口減少と高齢化で危機に直面するのは、右肩上がりしか経験したことの無い大都市圏です。とりわけ、医療・介護・福祉の面については、現状の施設や人材のみでは対応できないことは明白であり、大都市圏においてこそ大きな混乱が発生すると思われまます。

一方、邑南町をはじめとした中山間地域においても、人口減少、とりわけ子どもの数が減少していることは事実です。その結果、学校が極小規模となり、小学校を中心に学校再編が加速化しています。そして、その流れは中学校や高等学校にまで及んできました。島根県立矢上高等学校は、明治時代に端を発し、昭和 23 年に設置された伝統ある学校です。邑南町の最高学府として、これまで長年にわたって多くの卒業生を輩出してきました。また、普通科のみならず産業技術科を有する矢上高校は、邑南町における職業人材の育成にも大きく寄与してきました。さらに、生徒や教職員の存在は、学術、文化・芸術、スポーツ等において、地域に与えてきた影響は計り知れません。このように、連綿と培われてきた学舎を存続させていくことについては、論を待たないと思われまます。

そこで、平成 26 年度に 17 名の委員からなる、矢上高校将来ビジョン策定委員会が組織され、矢上高校の永久存続のために必要な目標や具体的な施策について検討を重ねて参りました。委員会では机上の議論に終始することのないよう、努力と工夫をして参りました。具体的には、委員で矢上高校の見学や授業参観を行ったり、生徒から意見を聴取したり、矢上高校の行事に参加したりしました。短い期間の検討でしたが、委員会では活発な議論が行われ、平成 27 年度から 5 年間で行くべき施策をまとめることができました。

本ビジョンは「学び」と「育ち」の主体である矢上高校と、「地域」をリードする邑南町と邑南町住民が協働で作成した、渾身の内容となりました。ビジョンの基本理念は「ふるさとを思い地域の未来をつくる 人づくり」としました。美しい自然に恵まれ、すばらしい人々が居住する「ふるさと」で学んだ生徒たちは、卒業後、様々な進路をとることでしょう。最終的に、世界をまたにかけて活躍する人もいれば、地元に住んで「ふるさと」を支える人もいるでしょう。しかし、いかなる地域にいようと、矢上高校で培った英知と技能を活かして、地域課題を解決できる人材を育成することが、矢上高校のミッションであると判断しました。本ビジョンにはこのような理念を実現するために、5つの基本方針と4つの重点目標をはじめ、多くの具体的施策が記されています。これらを一つひとつ実現することで、矢上高校の魅力が確実に向上し、「あこがれ」の存在になると確信しております。

矢上高校将来ビジョン 目次

はじめに

I 矢上高校の現状と将来ビジョンの必要性	1
1. 矢上高校の概要	1
2. 生徒数の推移と今後の予測	2
3. 矢上高校存続の必要性	3
4. 矢上高校将来ビジョンの策定	3
II 矢上高校将来ビジョンが目指すもの	4
1. 矢上高校の将来像	4
2. 基本理念	4
3. 基本方針	4
4. 計画期間	4
III 矢上高校将来ビジョン重点目標と重点項目のイメージ図	5
IV 矢上高校将来ビジョンの具体的な事業や取組	6
1. 実行プランとは	6
2. 矢上高校将来ビジョン実行プラン体系図	6
3. 実行プランの内容	8
重点目標 1：入学者の安定的な確保	8
(1) 情報発信の強化	8
(2) 町内中学生の入学率向上	9
(3) 県外生徒確保システムの導入	10
(4) 保護者の経済的負担軽減と通学利便性の向上	10
重点目標 2：教育内容や方法の充実	11
(1) 普通科の魅力向上	11
(2) 産業技術科の魅力向上	12
(3) 普通科と産業技術科の協奏	12
(4) 生徒力・教師力の育成	13
重点目標 3：未来をつくる人材育成	14
(1) 町の施策との一体化	14
(2) 夢を育む出会い	15
(3) 地域課題解決型（グローバル）人材育成	15
重点目標 4：高校支援体制の充実	16
(1) 矢上高校魅力化推進センターの設置	16
4. 実行プランの具体像	17

V 矢上高校将来ビジョン実現のための実行体制と支援体制	5 4
1. 実行体制	5 4
(1) 実行組織について	5 4
(2) 推進方法について	5 4
2. 支援体制	5 4
おわりに	5 5
参考資料	5 6
1. 矢上高校将来ビジョン策定委員会設置要綱	5 7
2. 矢上高校将来ビジョン策定委員会委員名簿	5 8
3. 矢上高校将来ビジョン策定委員会策定経緯	5 9

I 矢上高校の現状と将来ビジョンの必要性

1. 矢上高校の概要



矢上高校が所在する邑南町（おおなんちょう）は、平成16年10月に石見町、瑞穂町、羽須美村の3町村が合併し誕生しました。中国山地に囲まれた風光明媚なところで、近くには香木の森公園、霧の湯、断魚溪など観光地もたくさんあり、広島市内まで車で約1時間と、大変便利で暮らしやすい町です。

矢上高校は明治25年に組合立高等小学校として産声を上げ、昭和23年には、学制改革により矢上町立実業学校から島根県立矢上高等学校となりました。現在も地元の熱い支援に支えられながら多くの人材を輩出しています。また、初代校長の岡磯吉が「腕に覚えのある人間」「筋金の通った人間」「思いやりのある人間」を教育目標として生徒に訓示し、以来「校訓」となり受け継がれています。

この66年間の中で巣立った卒業生は約9100人、地元はもちろん、広く各界で活躍され社会の発展に寄与されています。矢上高校は1学年3学級で全校生徒約260人の小規模校です。大きな特色は、普通科と産業技術科を併せもった高校であることです。普通科の生徒は、少人数指導等の多くの学力向上対策の実施により、国公立大学、私立大学、専門学校等へ進学します。また、産業技術科の生徒は、農業科目と工業科目を履修し、選択により、野菜・草花栽培、食品製造、和牛の飼育、機械工作等を学習します。矢上高校は地域に根ざした学校として地元から大きな期待を寄せられています。

2. 生徒数の推移と今後の予測

矢上高校の入学者数は平成23年頃までは約100名前後を推移していましたが、平成23年を境に減少傾向となり平成26年には69名となってしまいました。その要因のひとつには、町内中学生数の減少が挙げられます。資料をみると、今後における町内中学校3年生の数は、75名から89名を推移する見込みであり、1学年3クラス120名定員（島根県の方針で平成27年度から矢上高校1学年120名定員90名定員に変更された）の復活を目指すためには、町内はもとより町外から毎年一定数の生徒を確保することが必要となります。

矢上高校は地域から愛されている学校です。今後は新たな将来ビジョンに従い学校の魅力づくりに努め、持続可能な生徒確保策を実践していくことが求められます。

矢上高校入学生徒数の推移

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
邑南町	96	95	96	62	70	64	74	66	58	48
美郷町・川本町	0	6	7	6	10	8	5	4	3	4
浜田（旭・金城）	7	8	9	12	17	6	11	17	15	6
その他県内	3	6	4	4	6	6	7	12	6	6
県外	0	1	0	0	3	1	7	3	7	5
合計	106	116	116	84	106	85	104	102	89	69

町内中学3年生の数と矢上高校へ入学した生徒数との割合

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
ア 町内中学校3年生 生徒数の合計（人）	141	116	131	86	103	98	92	89	81	75
イ アのうち矢上高校 へ入学した生徒数（人）	96	95	96	62	70	64	74	66	58	48
ウ 町内中学校から矢上 高校へ入学した者の割 合（％）イ/A	68.1	81.9	73.3	72.1	68.0	65.3	80.4	74.2	71.6	64.0

今後の町内中学校3年生徒数の合計と目標値及び生徒獲得目標数

	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35
ア 当該年度町内中 学校3年生徒数（人）	75	89	98	87	84	76	82	85	74	75
イ アの80%の生 徒数（人）（切捨）	60	71	78	69	67	60	65	68	59	60
ウ イを踏まえ町 外・県外生徒獲得 目標数（定員120人 の場合）	60	49	42	51	53	60	55	52	61	60

3. 矢上高校存続の必要性

矢上高校は、開校以来地元の熱い支援に支えられながら多くの優秀な人材を輩出してきました。この間巣立った卒業生は、地元はもちろん広く各界で活躍され社会の発展に寄与されています。

現在、過疎化や少子化などの影響により、定員割れが続いており、今後さらに生徒数の減少が見込まれることから、存続が困難となることが予測されています。

仮に廃校ともなると、この地域に教育格差が生まれ、邑南地域での定住が脅かされるでしょう。生まれ育った地域によって受ける教育に格差が生じるようなことは絶対にあってはなりません。そうならないためには邑南の地において、更に高い学力、豊かな人間力、生きる技が身につく環境を整備する必要があります。

矢上高校は地域の宝であり、永久的に地域を支える人材を輩出し続ける存在でなければなりません。そのためには、今抱えている問題や課題の解決に向け、高校だけの問題として捉えるのではなく、地域の実情に応じたかたちで、邑南町をはじめ関係団体等が、より一層連携を深めながら学校づくりを進めていく必要があります。

4. 矢上高校将来ビジョンの策定

矢上高校将来ビジョン（以下「将来ビジョン」という。）とは、矢上高校が永久存続を目指すため矢上高校、邑南町、地域住民、関係機関等が共同で策定する魅力化・活性化のための行動計画です。この計画は今後の学校の魅力化・活性化の方向性をより具体化し、邑南地域の更なる発展に寄与するために大変重要なものとなります。

策定にあたっては、邑南町、地元住民、関係団体、矢上高校 PTA、邑南町教育委員会、卒業生会、矢上高校教職員などで「矢上高校将来ビジョン策定委員会」を設立し、委員会での審議を経て策定しました。

この将来ビジョンは書面化することで、これまでご尽力いただいた熱心な高校管理職、教員、役場職員などに異動や退職があった場合でも方向性が継続されるという「道しるべ」の役割を果たし、持続可能な学校づくりが可能となります。



Ⅱ 矢上高校将来ビジョンが目指すもの

1. 矢上高校の将来像

(1) 社会に貢献できる 心豊かな 自立する人材を育成する学校

- ① 一人ひとりの生徒に対して、その資質や能力を十分に伸ばし、知・徳・体の調和のとれた教育を推進する。
- ② 計画的に魅力化活性化事業、キャリア教育を推進する。

(2) 夢・進路志望の実現ができる学校

- ① 生徒一人ひとりのニーズや資質を把握したきめ細かな指導を行う。
- ② 3年間を見通した進路実現プログラム、確かな学力の向上のためのアクションプランの実践を推進する。

(3) 魅力と活力のある 地域と共に発展する学校

- ① 地域との連携・協働を重視した学校づくりを行い、地域・学校を活性化させる。
- ② 部活動や学習等において、小中高大の連携を図る。

2. 基本理念

「ふるさとを思い 地域の未来をつくる 人づくり」

3. 基本方針

将来ビジョンでは矢上高校の永久存続を目指し次の5項目を基本方針に設定しました。

- (1) 矢上高校の永久存続を目指す。
- (2) 普通科、産業技術科それぞれの特色を活かすとともに、両者を協奏させることで特色を出す。
- (3) 町内卒業生の入学を促し、町外からの進学者を積極的に誘致する。
- (4) 町施策の中でも「日本一の子育て村構想」と「A級グルメ構想」の理念を全面に出した学校づくりを行う。
- (5) グローバルな人材育成を意識し、第2期しまね教育ビジョン21が示す基本理念「島根を愛し 世界を志す 心豊かな人づくり」を実践する旗艦校を目指す。

1学年3学級120人定員の復活を目指す

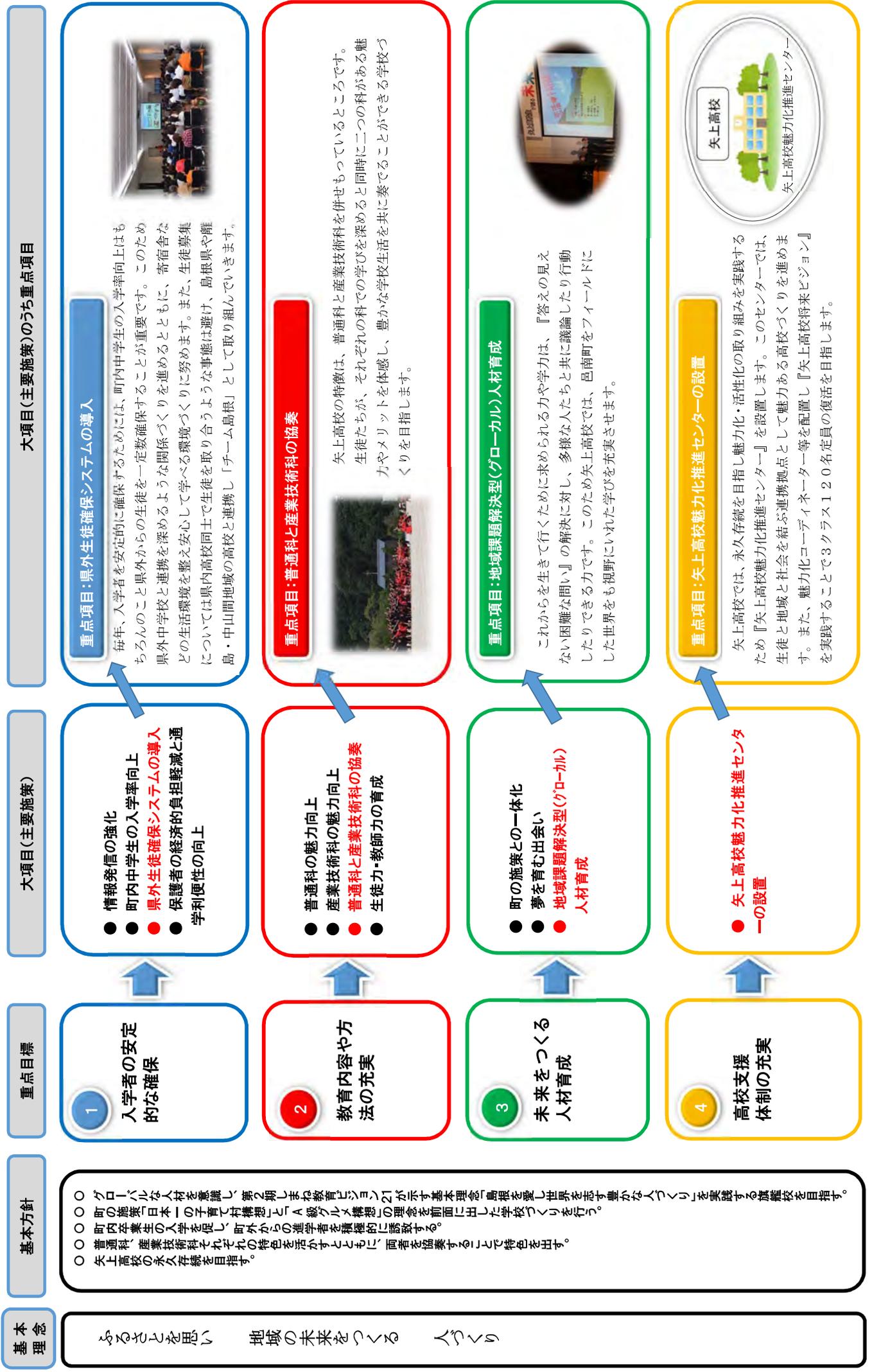
目標

4. 計画期間

「矢上高校将来ビジョン」の計画期間は

平成27年度から平成31年度までの5年間とします。

Ⅲ 矢上高校将来ビジョン重点目標と重点項目のイメージ図



矢上高校将来ビジョンの具体的な事業や取組

1. 実行プランとは

設定した4つの重点目標を具体化するための取組みを「実行プラン」として次のように体系化しました。

実行プランの体系化にあたっては、矢上高校将来ビジョン策定委員会において「入学者の安定的な確保」「教育内容や方法の充実」「未来をつくる人材育成」「高校支援体制の充実」に分けて意見交換を行い、抽出された意見を重点目標ごとに分類、統合し、大項目として12項目に取りまとめました。そして、実施していく項目を目的や内容を踏まえ、26項目に整理し、その中で具体的な実行プランを小項目として58項目に体系化しました。

2. 矢上高校将来ビジョン実行プラン体系図

次ページ掲載



2. 矢上高校将来ビジョン実行プラン体系図

基本方針	重点目標	大項目	中項目	小項目(実行プラン)	取組状況	総取組事項数	先行取組数
<p>① 矢上高校の永久存続を目指す。</p> <p>② 普通科、産業技術科それぞれの特色を活かすとともに、両者を協奏することで特色を出す。</p> <p>③ 町内卒業生の入学を促し、町外からの進学者を積極的に誘致する。</p> <p>④ 町の施策「日本一の子育て村構想」と「A級グルメ構想」の理念を前面に出した学校づくりを行う。</p> <p>⑤ グローバルな人材を意識し、第2期しまね教育ビジョン21が示す基本理念「島根を愛し世界を志す豊かな人づくり」を実践する旗艦校を目指す。</p>	1. 入学者の安定的な確保	(1) 情報発信の強化	①情報発信ツールの充実	①-1 マスメディアの活用と広報活動の充実	既存	4	4
			②オープンスクールの充実	②-1 魅力的なオープンスクールの演出	既存	1	1
			③中学校訪問PRの強化	③-1 中学校高校説明会でのプレゼン強化 ③-2 中学校訪問先の拡充	既存 新規	1 3	1 3
		(2) 町内中学生の入学率向上	④保護者等との交流促進	④-1 高校と町内中学校PTAとの意見交換会開催 ④-2 高校PTAと町内中学校PTAの交流促進	既存 既存	1 1	1 1
			⑤中高生徒間との交流促進	⑤-1 部活動交流促進 ⑤-2 勉強交流促進 ⑤-3 在校生の出身中学校訪問交流 ⑤-4 在校生から中学生へのメッセージ伝達	既存 既存 新規 既存	3 1 1 1	1 1 1 1
			⑥中高教員間との交流促進	⑥-1 高校教員と中学進路指導教員との交流促進	新規	2	2
		(3) 県外生徒確保システムの導入	⑦県外からの生徒一定数獲得	⑦-1 県外連携中学校の訪問先の拡充	新規	1	1
			⑧離島・中山間高校との連携	⑧-1 「チーム島根」で合同生徒募集	新規	2	2
			⑨高校卒業生会との連携	⑨-1 高校卒業生会と連携した生徒募集活動 ⑨-2 県外における単独高校説明会開催検討	既存 新規	1 1	1 1
		(4) 保護者の経済的負担軽減と通学利便性の向上	⑩寄宿舎環境の充実	⑩-1 寄宿舎環境整備 ⑩-2 里親制度の導入	既存 新規	2 3	2 2
			⑪保護者の経済的負担軽減	⑪-1 通学バス補助金制度の充実	既存	1	1
		2. 教育内容や方法の充実	(1) 普通科の魅力向上	⑬学力向上	⑬-1 習熟度別少人数指導・個人添削実施	既存	1
⑬-2 河合塾講師による出前授業(英・数)	既存				1	1	
⑬-3 教員の授業力の向上	既存				1	1	
⑬-4 言語力の向上	既存				1	1	
(2) 産業技術科の魅力向上	⑭特色ある教育の推進		⑭-1 町観光協会等との連携(食の縁結び甲子園)	新規	1	1	
			⑭-2 地域福祉のマインドをもった人材育成	新規	3	2	
			⑭-3 『おおなん学』の推進(未来フォーラム開催)	既存	2	1	
(3) 普通科と産業技術科の協奏	⑮時代に対応した教育の充実		⑮-1 移動矢高ショップの開催	既存	1	1	
			⑮-2 農林大学校との交流促進	新規	1	1	
			⑮-3 課題研究・発表・論文作成の実施	既存	1	1	
(4) 生徒力・教師力の育成	⑯町の地域資源の活用		⑯-1 町観光協会等との連携(スイーツ甲子園)	既存	1	1	
			⑯-2 菓子製造室の活用	新規	1	1	
		⑯-3 地域資源を活用した商品開発	既存	1	1		
(1) 普通科と産業技術科の協奏	⑰普通科と産業技術科の協奏	⑰-1 普通科、産業技術科の特色化	新規	1	1		
		⑰-2 進路志望の実現	既存	1	1		
		⑰-3 キャリア教育の推進	既存	6	6		
		⑰-4 科目「生活と福祉」の導入	新規	1	1		
(2) 生徒力・教師力の育成	⑱生徒力の育成	⑱-1 部活動の活性化	既存	5	5		
		⑱-2 豊かな心の育成	既存	5	5		
(3) 地域課題解決型(グローバル)人材育成	⑲教師力の育成	⑲-1 教員の専門性向上	既存	4	4		
		⑲-2 豊かな心の育成	既存	5	5		
3. 未来をつくる人材育成	(1) 町の施策との一体化	⑳町の施策との一体化	⑳-1 邑南町との連携	既存	1	1	
			⑳-2 邑南町教育委員会との連携	既存	2	1	
	(2) 夢を育む出会い	㉑大学・専門機関との連携	㉑-1 高等教育機関との連携の検討(島大、県立大等)	新規	1	1	
			㉑-2 行政機関との連携の検討(家畜保健所等)	新規	2	2	
	(3) 地域課題解決型(グローバル)人材育成	㉒多様な主体による支援	㉒-1 地域・行政からの支援(総合学習センター検討)	新規	1	1	
			㉒-2 関係団体からの支援	新規	1	1	
4. 高校支援体制の充実	(1) 矢上高校魅力化推進センターの設置	㉓think globally グローバルな視野の確保	㉓-1 グローバルな視野の確保	新規	1	1	
			㉓-2 外国語能力を有する人材育成	新規	2	1	
			㉓-3 研修旅行の検討(志願制)	新規	1	1	
			㉓-4 地域課題解決型授業(未来フォーラム)開催	既存	1	1	
(2) 支援体制の整備	㉔act locally 地域における実践	㉔-1 (再) 地域課題解決型授業(未来フォーラム)開催	㉔-1 (再) 地域課題解決型授業(未来フォーラム)開催	既存	1	1	
			㉔-2 地域系部活動設置促進事業への参加	既存	1	1	
			㉔-3 矢上高校卒業生会との連携	既存	1	1	
			㉔-4 教育支援	既存	1	1	
(1) 矢上高校魅力化推進センターの設置	㉕拠点施設の整備	㉕-1 矢上高校魅力化推進センターの設置	㉕-1 矢上高校魅力化推進センターの設置	新規	1	1	
			㉕-2 人材の配置(魅力化コーディネーター等の配置)	新規	1	1	
			㉕-3 地域住民との連携	新規	1	1	
			㉕-4 教育支援	既存	1	1	
(2) 支援体制の整備	㉖支援体制の整備	㉖-1 矢上高校卒業生会との連携	㉖-1 矢上高校卒業生会との連携	既存	1	1	
			㉖-2 教育支援	既存	1	1	
			㉖-3 地域系部活動設置促進事業への参加	既存	1	1	
			㉖-4 教育支援	既存	1	1	

3. 実行プランの内容

重点目標 1. 入学者の安定的な確保

入学者の安定的な確保を目指し次の4項目を推進します。

- (1) 情報発信の強化
- (2) 町内中学生の入学率向上
- (3) 県外生徒確保システムの導入
- (4) 保護者の経済的負担軽減と通学利便性の向上

また、大項目ごとの具体的な取組内容を次のように整理しました。

大項目(1) 情報発信の強化

中項目	小項目 (実行プラン)	具体的な取組内容
① 情報発信ツールの充実	①-1 マスメディアの活用と広報活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ㉞ 常にホームページの内容を更新し情報を全国へ発信します。 ㉟ 学校案内 DVD の内容を常に見直し学校の魅力を分かりやすく伝えます。 ㊱ チラシ、ポスター、「矢高ニュースレター」等を活用し広く学校の魅力を発信します。 ㊲ マスメディア（おおなんケーブルTV、各種情報誌など）に矢上高校に関する情報を積極的に発信します。
② オープンスクール（中学生の一日体験入学）の充実	②-1 魅力的なオープンスクールの演出	㉞ オープンスクールでは在校生が主体となり参加中学生を迎えます。また、公開授業の内容を充実します。部活動紹介も在校生が中心に行います。
③ 中学校訪問PRの強化	③-1 中学校高校説明会でのプレゼン強化	㉞ 中学校高校説明会で使用するアイテム（学校案内DVD、学校案内ガイドブックなど）を充実します。また、中学生に魅力的で伝わりやすい内容で説明します。
	③-2 中学校訪問先の拡充	<ul style="list-style-type: none"> ㉞ 町内中学校をはじめこれまでに繋がりのある中学校への訪問PR活動を強化します。 ㉟ 町外県内中学校の新規訪問先を増やしPR活動を強化するとともに、中学校ごとに開催される高校説明会に呼んでもらえるよう働きかけます。 ㊱ 県外中学校の新規訪問先を増やしPR活動を強化するとともに、中学校ごとに開催される高校説明会に呼んでもらえるよう働きかけます。

大項目(2) 町内中学生の入学率向上

中項目	小項目 (実行プラン)	具体的な取組項目
④保護者等との交流促進	④-1 高校と町内中学校 PTA との意見交換会開催	㊦ 地域に根ざした魅力的な学校を目指し、高校と町内中学校 PTA との意見交換の場を設けます。
	④-2 高校 PTA と町内中学校 PTA の交流促進	㊦ 高校 PTA と町内中学校 PTA とで交流会や研修会を開催し親睦を深めます。
⑤中高生徒間の交流促進	⑤-1 部活動交流促進	㊦ 部活動を通じた在校生と町内中学生との交流の機会を増やします。
		㊧ 地域の企業や指導者と連携した部活動の仕組みづくりを検討します。
		㊦ 邑南地域において小学校から高校まで一貫して競技が続けられるような仕組みづくりを検討します。
	⑤-2 勉強交流促進	㊦ 勉強を通して交流できる機会をつくります。
⑤-3 在校生の出身中学校訪問交流	㊦ 在校生が出身中学校を訪問し後輩たちに学校の魅力を伝えるような機会をつくります。	
	⑤-4 在校生から中学生へのメッセージ伝達	㊦ 在校生が高校の魅力をメッセージ等で後輩たちに伝えます。
⑥中高教員間の交流促進	⑥-1 高校教員と町内中学校進路指導教員との交流促進	㊦ 町内中学校進路指導教員に矢上高校の魅力を理解してもらうため交流会・研修会を開催します。 ㊧ 中高教員間で相互に学校間を行き来できる仕組みづくりを検討します。



矢上高校を紹介する情報発信ツール



高校生と中学生の勉強交流会

大項目(3) 県外生徒確保システムの導入

中項目	小項目 (実行プラン)	具体的な取組内容
⑦ 県外からの生徒一定数獲得	⑦-1 県外連携中学校の拡充	⑦ 毎年、県外からの生徒が一定数確保できることを目指し、県外中学校と連携を深めるような関係づくりに取り組みます。
⑧ 島根県や離島中山間地域の高校との連携	⑧-1 「チーム島根」で合同生徒募集	⑦ 島根県や離島中山間地域の高校で「チーム島根」を結成し合同で高校説明会（東京、大阪、広島など）を開催します。 ⑧ 「チーム島根」で合同バスツアーを開催します。
	⑧-2 県外における単独高校説明会開催検討	⑦ 卒業生会（東京支部、関西支部、広島支部）の協力を得ながら県外における矢上高校単独での学校説明会の開催を検討します。
⑨ 高校卒業生会との連携	⑨-1 高校卒業生会と連携した生徒募集活動	⑦ 矢上高校の魅力を広く発信するために卒業生会と連携し積極的なPR活動を展開します。
	⑨-2 県外における単独高校説明会開催検討	⑦ 卒業生会（東京支部、関西支部、広島支部）の協力を得ながら県外における矢上高校単独での学校説明会の開催を検討します。
⑩ 寄宿舍環境の充実	⑩-1 寄宿舍環境整備	⑦ 寄宿舍1部屋2人～3人制について検討します。 ⑧ 生徒が安全安心に寄宿舍生活を送れるよう、学習環境や生活環境を整備します。
	⑩-2 里親制度の導入	⑦ 遠隔地からの生徒が安心して寄宿舍生活を送れるように里親制度の仕組みづくりを検討します。 ⑧ 持続可能な里親制度を立ち上げます。また、生徒が卒業後もこの地域を第2のふるさとと感じてもらえるような仕組みづくりを検討します。 ⑨ 寄宿舍生が地域活動へ参加する機会がもてるような仕組みづくりを検討します。

大項目(4) 保護者の経済的負担軽減と通学利便性の向上

中項目	小項目 (実行プラン)	具体的な取組内容
⑪ 保護者の経済的負担軽減	⑪-1 通学バス補助金制度の充実	⑦ 通学バス補助金制度を充実させ、生徒や保護者の経済的負担を軽減します。
⑫ 通学利便性向上	⑫-1 町内各地域からの通学利便性向上	⑦ 町内からの通学バス新規路線導入の検討や既存路線ダイヤや便数の見直しの検討を行います。
	⑫-2 隣接市町からの通学利便性向上	⑦ 隣接市町からの通学バス新規路線導入の検討や既存路線ダイヤや便数の見直しの検討を行います。

重点目標 2. 教育内容や方法の充実

教育内容や教育方法を充実させるため次の4項目を推進します。

- (1) 普通科の魅力向上
- (2) 産業技術科の魅力向上
- (3) 普通科と産業技術科の協奏
- (4) 生徒力・教師力の育成

また、大項目ごとの具体的な取組内容を次のように整理しました。

大項目(1) 普通科の魅力向上

中項目	小項目 (実行プラン)	具体的な取組項目
⑬ 学力向上	⑬-1 習熟度別少人数指導・個人添削実施	㊦ 生徒一人ひとりにあったきめ細やかな指導により、難関大学をはじめ国公立大学の合格者数を増やします。
	⑬-2 河合塾講師による出前授業	㊦ 河合塾講師による出前授業を充実させ英語や数学の学力向上を目指します。
	⑬-3 教員の授業力の向上	㊦ 教員の授業力を向上させるため先進校視察、校外研修会、中学校への出前授業を積極的に実施します。
	⑬-4 言語力の向上	㊦ 図書館を活用した授業（調べ学習）の推進や読書活動の推進、定期的な朝礼時における小論文学習などを推進します。
⑭ 特色ある教育の推進	⑭-1 町観光協会等との連携	㊦ 町観光協会や食の学校と連携し、「食の縁結び甲子園」の出場を目指します。
	⑭-2 地域福祉のメインドをもった人材育成	㊦ 町の福祉施設と連携した施設研修を実施し、将来にわたり地域福祉を支える人材を育成します。 ㊧ 連携福祉施設の募集を実施します。 ㊦ 石見養護学校との交流学习を実施します。
	⑭-3 『おおなん学』の推進	㊦ 既に実施している地域課題解決型プロジェクト「矢上高校生が語る未来フォーラム」を実施します。 ㊧ ふるさとの伝統・文化等を知り、継承・発展させる態度を育成します。また、ふるさとの良さを日本や世界に発信します。



未来フォーラムで発表する内容をまとめている様子



平成 26 年度矢上高校生が語る未来フォーラム

大項目(2) 産業技術科の魅力向上

中項目	小項目 (実行プラン)	具体的な取組内容
⑮ 時代に対応した教育の充実	⑮-1 移動矢高ショッポの開催	㊦ 起業家精神を養うため、移動矢高ショッポを開催します。
	⑮-2 農林大学校との交流促進	㊦ 農林大学校での1泊2日の研修合宿を検討します。
	⑮-3 課題研究・発表・論文作成の実施	㊦ 一人ひとりの興味に合わせて体験的に学習を進め課題研究・発表・論文作成を実施することで、社会に貢献できる自立した人材育成に努めます。
⑯ 町の地域資源の活用	⑯-1 町観光協会等との連携	㊦ 町観光協会や食の学校と連携して「スイーツ甲子園」の出場を目指します。
	⑯-2 菓子製造室の活用	㊦ 町観光協会と共同で開発したスイーツを菓子製造室で製造し販売します。
	⑯-3 地域資源を活用した商品開発	㊦ 町観光協会や食の学校と連携した商品開発を検討します。

大項目(3) 普通科と産業技術科の協奏

中項目	小項目 (実行プラン)	具体的な取組内容
⑰ 普通科と産業技術科の協奏	⑰-1 普通科、産業技術科の特色化	㊦ 生徒たちが、それぞれの科での学びを深めると同時に二つの科がある魅力やメリットを体感し、豊かな学校生活を共に奏でることができる実行プランを検討します。
	⑰-2 進路志望の実現	㊦ 高校3年間を見通した進路実現プログラムを作成し実践します。
	⑰-3 キャリア教育の推進	㊦ 卒業生による社会人講話会や大学生講話会を開催します。 ① 邑智病院、役場、矢上小学校研修を実施します。 ㊦ 町内企業等と連携しインターンシップフェアを開催します。 ⑤ 大学視察研修や企業見学研修(1泊2日)を実施します。 ④ 小学校合宿へ参加します。 ㊦ 矢上駅の看板を作成します。
	⑰-4 科目「生活と福祉」の導入	㊦ 生徒の福祉への興味・関心を高めることや職業観を養うために科目「生活と福祉」を導入します。

大項目(4) 生徒力・教師力の育成

中項目	小項目 (実行プラン)	具体的な取組内容
⑱ 生徒力の育成	⑱-1 部活動の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 著名選手の実技指導を実施します。 ㊧ 地域に根ざした部活動を推進するため地域関連団体との連携を深めます。 ㊨ 外部コーチの招致を検討します。 ㊩ 小中高連携した部活動の仕組みづくりを検討します。 ㊪ スキー部創設を検討します。
	⑱-2 豊かな心の育成	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 基本的な生活習慣を確立させます。 ㊧ 人権・同和教育を推進します。 ㊨ ボランティア活動に積極的に参加します。 ㊩ いじめ・不登校等に対するプロジェクト委員会を開催します。 ㊪ 元気なあいさつを推進します。
⑲ 教師力の育成	⑲-1 教員の専門性向上	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 公開授業月間・互見授業・研究授業等のシステムの導入をします。 ㊧ 参加型校内研修を実施します。 ㊨ 先進事例を推進している高校や地域への視察などを行います。 ㊩ 中学校出前授業（英・数）を実施します。



小中高合同の演奏会



地域と連携した部活動振興

重点目標3. 未来をつくる人材育成

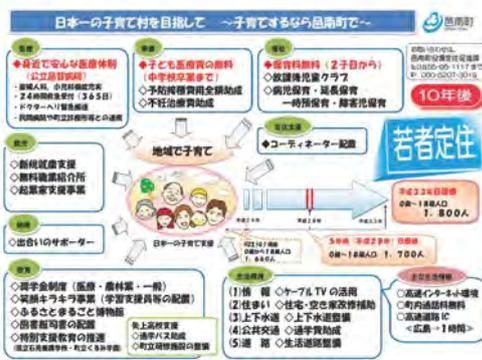
地域の未来を創り出していけるような人材を育成するため次の3項目を推進します。

- (1) 町の施策との一体化
- (2) 夢を育む出会い
- (3) 地域課題解決型（グローバル）人材育成

また、大項目ごとの具体的な取組内容を次のように整理しました。

大項目(1) 町の施策との一体化

中項目	小項目（実行プラン）	具体的な取組項目
⑩町の施策との一体化	⑩-1 邑南町との連携	⑦ 矢上高校の魅力化・活性化事業を推進するため邑南町の主要施策である「日本一の子育て村構想」や「A級グルメ構想」の理念を意識した学校づくりに努めます。
	⑩-2 邑南町教育委員会との連携	⑦ 小中高連携を一層強化して、教職員間の関係づくりに加え、地域学習や部活動等を通して児童生徒間交流を推進します。 ⑧ 邑南町のふるさと学習やキャリア教育の一貫性を構築していきます。



← 町の主要施策である「日本一の子育て村構想」



町観光協会連携（商品開発）
グッドデザイン賞受賞



町観光協会連携
スーツ甲子園出場

大項目(2) 夢を育む出会い

中項目	小項目 (実行プラン)	具体的な取組項目
㉑ 大学・専門機関との連携	㉑-1 高等教育機関との連携の検討	㉑ 島根大学、島根県立大学、広島大学、農林大学校等の高等教育機関と連携して、矢上高校魅力化・活性化に関するプログラムの開発や助言、各種イベント事業について検討します。
	㉑-2 行政機関との連携の検討	㉑ 江津家畜保健衛生所との交流を深め、生徒の技術力を高めます。 ㉒ 島根県中山間地域研究センターとの連携を深めながら、生徒と地域と社会を結ぶような仕組みづくりプログラムを検討します。
	㉑-3 魅力的な企業や企業人との連携	㉑ 魅力的な企業や企業人との交流（「夢を育む出会い」）を通し、ふるさとを思い世界で活躍できるような能力や社会で自立していくために必要な能力を育成する機会をもちます。 ㉒ ㉑のために必要な企業と連携可能なプログラム作成を検討します。
㉒ 多様な主体による支援	㉒-1 地域・行政からの支援	㉒ 矢上高校魅力化を図るために企画・実践する機能や生徒育成のための学びの機能を有する総合学習センター（仮称）の設置を検討します。
	㉒-2 関係団体からの支援	㉒ 矢上高校将来ビジョン策定委員会で検討された活動を推進していくために、連携して活動していく関係団体や企業を募集します。
	㉒-3 応援団からの支援	㉒ 矢上高校が更に魅力的な学校になるよう全町民から支援が得られるような仕組みづくりを検討します。

大項目(3) 地域課題解決型（グローバル）人材育成

中項目	小項目 (実行プラン)	具体的な取組内容
㉓ think globally グローバルな視野の確保	㉓-1 グローバルな視野の確保	㉓ 留学生の受け入れシステムを検討します。
	㉓-2 外国語能力を有する人材育成	㉓ 外国語教育を充実します。 ㉔ スカイプによる多様な地域との交流を促進します。
	㉓-3 研修旅行の検討	㉓ 志願制研修旅行を検討します。
㉔ act locally 地域における実践	㉔-1 (再) 地域課題解決型授業開催	㉔ 既に実施している地域課題解決型プロジェクト「矢上高校生が語る未来フォーラム」を実施します。(再掲)
	㉔-2 地域系部活動設置促進事業への参加	㉔ 地域系部活動設置促進事業（島根県事業）に参加します。

重点目標 4. 高校支援体制の充実

矢上高校将来ビジョンを確実に実行するために矢上高校に対する支援体制を充実させます。

● 矢上高校魅力化推進センターの設置

また、大項目の具体的な取組内容を次のように整理しました。

大項目 (1) 矢上高校魅力化推進センターの設置

中項目	小項目 (実行プラン)	具体的な取組項目
㊸ 拠点施設の整備	㊸-1 矢上高校魅力化推進センターの設置	㊸ 矢上高校魅力化推進センターの学校内設置を検討します。
㊹ 支援体制の整備	㊹-1 人材の配置	㊸ 矢上高校魅力化コーディネーターを配置します。仕事は生徒確保対策や矢上高校魅力化・活性化のマネジメントを行います。また、生徒と地域や社会を結ぶ役割も果たします。
	㊹-2 地域住民との連携	㊸ 学校と地域との協働体制の仕組化を進めます。
	㊹-3 矢上高校卒業生会との連携	㊸ 矢上高校卒業生会との連携を深め、魅力ある学校づくりを実現していきます。
	㊹-4 教育支援	㊸ 矢上高校教育振興会など応援団と連携し、魅力ある学校づくりを実現していきます。

4. 実行プランの具体像

実行プランについて、「A 取組内容」、「B 1年目から取り組むべき事項」、「C 2年目以降に取り組む事項」、「D 実施項目と役割分担」、「E 関連プロジェクト」に整理しました。

■ 実行プラン①【情報発信ツールの充実】

①-1 マスメディアの活用と広報活動の充実

A 取組内容	目的	○ 矢上高校の魅力発信				
	内容	㊦ 常にホームページの内容を更新し情報を全国へ発信します。 ㊧ 学校案内 DVD の内容を常に見直し学校の魅力を分かりやすく伝えます。 ㊨ チラシ、ポスター、「矢高ニュースレター」等を活用し広く学校の魅力を発信します。 ㊩ マスメディア（おおなんケーブル TV、各種情報誌など）に矢上高校に関する情報を積極的に発信します。				
B 1年目から取り組むべき事項	取組事項	状況	実施主体			
	㊦ ホームページで魅力発信	既存	矢上高校			
	㊧ 学校案内 DVD で魅力発信	既存	矢上高校			
	㊨ チラシ、ポスター、機関誌等で魅力発信	既存	矢上高校			
	㊩ マスメディアで魅力発信	既存	矢上高校			
C 2年目以降に取り組む事項	—	—	—			
D 実施項目と役割分担	実施項目	連携に関わる機関				
		矢上高校	邑南町	住民	関係機関	関係中学校
	企画立案	●	●			
	ホームページで魅力発信	●	●	●	●	●
	学校案内 DVD で魅力発信	●	●	●	●	●
	機関誌等で魅力発信	●	●	●	●	●
	マスメディアで魅力発信	●	●	●	●	●
広報・PR	●	●	●	●	●	
E 関連プロジェクト						

実行プラン②【オープンスクールの充実】

②-1 魅力的なオープンスクールの演出

A 取組 内容	目的	○ 矢上高校の情報発信、生徒確保対策				
	内容	㊦ オープンスクールでは在校生が主体となり参加中学生を迎えます。また、公開授業の内容を充実します。部活動紹介も在校生が中心に行います。				
B 1年目から取り 組むべき事項	取組事項	状況	実施主体			
	㊦ 公開授業の内容充実	既存	矢上高校			
C 2年目以降に取り 組む事項	—	—	—			
D 実施項目と役割 分担	実施項目	連携に関わる機関				
		矢上 高校	邑南町	住 民	関係 機関	関係 中学校
	企画立案	●	●			
	公開授業等の内容充実	●	●		●	
	広報・PR	●	●		●	
E 関連プロジェクト						



オープンスクールの概要説明



生徒会による説明 1



生徒会による説明 2



産業技術科の産業際に併せオープンスクールを開催しました。

■ 実行プラン③【中学校訪問 PR の強化】

③-1 中学校高校説明会でのプレゼン強化

A 取組内容	目的	○ 矢上高校の情報発信、生徒確保対策				
	内容	⑦ 中学校高校説明会で使用するアイテム（学校案内 DVD、学校案内ガイドブックなど）を充実します。また、中学生に魅力的で伝わりやすい内容で説明します。				
B 1年目から取り組むべき事項	取組事項	状況		実施主体		
	⑦ 中学校高校説明会で使用するアイテム充実	既存		矢上高校		
C 2年目以降に取り組む事項	—		—		—	
D 実施項目と役割分担	実施項目	連携に関わる機関				
		矢上高校	邑南町	住民	関係機関	関係中学校
	企画立案	●	●			
	説明アイテム充実	●	●			
	広報・PR	●	●		●	
E 関連プロジェクト						

③-2 中学校訪問先の拡充

A 取組内容	目的	○ 矢上高校の情報発信、生徒確保対策				
	内容	⑦ 町内中学校をはじめこれまでに繋がりのある中学校への訪問 PR 活動を強化します。 ⑧ 町外県内中学校の新規訪問先を増やし PR 活動を強化するとともに、中学校ごとに開催される高校説明会に呼んでもらえるように働きかけます。 ⑨ 県外中学校の新規訪問先を増やし PR 活動を強化するとともに、中学校ごとに開催される高校説明会に呼んでもらえるように働きかけます。				
B 1年目から取り組むべき事項	取組事項	状況		実施主体		
	⑦ 既存訪問中学校への PR 活動強化	既存		矢上高校・邑南町		
	⑧ 県内中学校の訪問 PR 先拡充	新規		矢上高校・邑南町		
C 2年目以降に取り組む事項	取組事項	状況		実施主体		
	⑨ 県外中学校の訪問 PR 先拡充	新規		矢上高校・邑南町		
	—	—		—		
D 実施項目と役割分担	実施項目	連携に関わる機関				
		矢上高校	邑南町	住民	関係機関	関係中学校
	企画立案	●	●			
	既存訪問中学校への PR 強化	●	●		●	
	県内中学校訪問先拡充	●	●		●	
	県外中学校訪問先拡充	●	●		●	
広報・PR	●	●		●		
E 関連プロジェクト						

■ 実行プラン④【保護者等との交流促進】

④-1 高校と町内中学校 PTA との意見交換会開催							
A 取組内容	目的	○ 高校の魅力発信					
	内容	㊦ 地域に根ざした魅力的な学校を目指し、高校と町内中学校 PTA（石見中学校、瑞穂中学校、羽須美中学校保護者）との意見交換の場を設けます。					
B 1年目から取り組むべき事項	取組事項	㊦ 町内中学校 PTA との学校説明会および意見交換会の開催			状況	実施主体	
					既存	矢上高校・邑南町	
C 2年目以降に取り組む事項		—			—	—	
D 実施項目と役割分担	実施項目	連携に関わる機関					
		矢上高校	邑南町	住民	関係機関	関係中学校	島根県
		企画立案	●	●		●	
		町内中学校 PTA との意見交換会開催	●	●		●	
	広報・PR	●	●		●		
E 関連プロジェクト							

④-2 高校 PTA と町内中学校 PTA の交流促進							
A 取組内容	目的	○ 高校の魅力発掘、魅力発信、高校 PTA と中学校 PTA との連携の仕組みづくり					
	内容	㊦ 高校 PTA と町内中学校 PTA とで交流会や研修会を開催し親睦を深めます。					
B 1年目から取り組むべき事項	取組事項	㊦ 矢上高校 PTA と町内中学校 PTA との交流会、研修会の企画・開催			状況	実施主体	
					新規	矢上高校・邑南町	
C 2年目以降に取り組む事項		—			—	—	
D 実施項目と役割分担	実施項目	連携に関わる機関					
		矢上高校	邑南町	住民	関係機関	関係中学校	島根県
		企画立案	●	●		●	
		中高 PTA 交流会・研修会の企画・開催	●	●		●	●
	広報・PR	●	●		●	●	
E 関連プロジェクト							

■ 実行プラン⑤【中高生徒間の交流促進】

⑤-1 部活動交流促進							
A 取組内容	目的	○ 高校の魅力発信、小中高校生徒間および教師間交流促進					
	内容	㊦ 部活動を通じた在校生と町内小中学生との交流の機会を増やします。 ㊧ 地域の企業や指導者と連携した部活動の仕組みづくりを検討します。 ㊨ 邑南地域において小学校から高校まで一貫して競技が続けられるような仕組みづくりを検討します。					
B 1年目から取り組むべき事項	取組事項	状況	実施主体				
	㊦ 部活動による小中高生徒間交流促進	既存	矢上高校・邑南町				
C 2年目以降に取り組む事項	取組事項	状況	実施主体				
	㊧ 地域の企業や指導者と連携した部活動の仕組みづくりの検討	新規	矢上高校・邑南町				
	㊨ 小学校から高校まで一貫して競技が出来る仕組みづくり検討	新規	矢上高校・邑南町				
D 実施項目と役割分担	実施項目	連携に関わる機関					
		矢上高校	邑南町	住民	関係機関	関係小中学校	島根県
	企画立案	●	●			●	
	部活動による小中高生徒間交流	●	●			●	
	地域と連携した部活動検討	●	●	●	●	●	
	小中高一貫して競技が出来る仕組みづくり	●	●	●	●	●	
	広報・PR	●	●	●	●	●	
E 関連プロジェクト							

⑤-2 勉強交流促進							
A 取組内容	目的	○ 高校の魅力発信 ○ 中高校生徒間および教師間交流促進					
	内容	㊦ 勉強を通して交流できる機会をつくります。					
B 1年目から取り組むべき事項	取組事項	状況	実施主体				
	㊦ 勉強を通して交流できる機会づくり	既存	矢上高校・邑南町 関係中学校				
C 2年目以降に取り組む事項	取組事項	状況	実施主体				
	—	—	—				
D 実施項目と役割分担	実施項目	連携に関わる機関					
		矢上高校	邑南町	住民	関係機関	関係中学校	島根県
	企画立案	●	●			●	
	勉強交流会開催・参加	●	●			●	
	広報・PR	●	●			●	
E 関連プロジェクト							

⑤-3 在校生の出身中学校訪問交流							
A 取組内容	目的	○ 矢上高校の魅力発信、中高校生徒間および教師間交流促進					
	内容	㊦ 在校生が出身中学校を訪問し後輩たちに学校の魅力を伝えるような機会をつくれます。					
B 1年目から取り組むべき事項	取組事項	状況		実施主体			
	㊦ 高校生の出身中学校への訪問交流	新規		矢上高校・邑南町関係中学校			
C 2年目以降に取り組む事項	—	—		—			
D 実施項目と役割分担	実施項目	連携に関わる機関					
		矢上高校	邑南町	住民	関係機関	関係中学校	島根県
	企画立案	●	●			●	
	出身中学校への訪問交流	●	●			●	
広報・PR	●	●			●		
E 関連プロジェクト							

⑤-4 在校生から中学生へのメッセージ伝達							
A 取組内容	目的	○ 矢上高校の魅力発信、中高校生徒間交流促進					
	内容	㊦ 在校生が高校の魅力をメッセージ等で後輩たちに伝えます。					
B 1年目から取り組むべき事項	取組事項	状況		実施主体			
	㊦ 在校生から町内中学生へのメッセージ伝達	既存		矢上高校・邑南町関係中学校			
C 2年目以降に取り組む事項	—	—		—			
D 実施項目と役割分担	実施項目	連携に関わる機関					
		矢上高校	邑南町	住民	関係機関	関係中学校	島根県
	企画立案	●	●			●	
	在校生から町内中学生へのメッセージ伝達	●	●			●	
広報・PR	●	●			●		
E 関連プロジェクト							

■ 実行プラン⑥【中高教員間の交流促進】

⑥-1 高校教員と町内中学校進路指導教員との交流促進							
A 取組内容	目的	○ 矢上高校の魅力発信 ○ 教師間交流促進					
	内容	⑦ 町内中学校進路指導教員に矢上高校の魅力を理解してもらうため交流会・研修会を開催します。 ⑧ 中高教員間で相互に学校間を行き来できる仕組みづくりを検討します。					
B 1年目から取り組むべき事項	取組事項	状況	実施主体				
	⑦ 高校と中学校教員間の交流会・研修会の開催	新規	矢上高校・邑南町				
	⑧ 中高教師間で相互に学校間を行き来できるような仕組みづくり検討	新規	矢上高校・邑南町				
C 2年目以降に取り組む事項	—	—	—				
D 実施項目と役割分担	実施項目	連携に関わる機関					
		矢上高校	邑南町	住民	関係機関	関係中学校	島根県
		企画立案	●	●		●	
		高校教員と中学校進路指導教員との交流会・研修会の開催	●	●		●	
		中高の教員が相互に行き来できる仕組みづくり検討	●	●		●	
	広報・PR	●	●		●		
E 関連プロジェクト							

■ 実行プラン⑦【県外からの生徒一定数確保】

⑦-1 県外連携中学校訪問先の拡充							
A 取組内容	目的	○ 生徒募集					
	内容	⑦ 毎年、県外からの生徒を一定数確保するため県外中学校訪問先を拡充し連携を深めるような関係づくりに取り組みます。					
B 1年目から取り組むべき事項	取組事項	状況	実施主体				
	⑦ 県外中学校の訪問先拡充と連携が深まるような関係づくり	新規	矢上高校・邑南町				
C 2年目以降に取り組む事項	—	—	—				
D 実施項目と役割分担	実施項目	連携に関わる機関					
		矢上高校	邑南町	住民	関係機関	関係中学校	島根県
		企画立案	●	●			
		県外中学校訪問先拡充と連携が深まるような関係づくり	●	●	●	●	●
		広報・PR	●	●	●	●	●
E 関連プロジェクト							

■ 実行プラン⑧【離島・中山間地域の高校等との連携】

⑧-1 「チーム島根」で合同生徒募集

A 取組内容	目的	○ 生徒募集				
	内容	㊦ 島根県や離島中山間地域の高校で「チーム島根」を結成し合同で高校説明会（東京、大阪、広島など）を開催します。 ㊧ 「チーム島根」での合同バスツアーを開催します。				
B 1年目から取り組むべき事項	取組事項	状況	実施主体			
	㊦ 「チーム島根」で合同生徒募集 ㊧ 「チーム島根」で合同バスツアー開催	新規 新規	矢上高校・邑南町 島根県など 矢上高校・邑南町 島根県など			
C 2年目以降に取り組む事項	—	—	—			
D 実施項目と役割分担	実施項目	連携に関わる機関				
		矢上高校	邑南町	住民	関係機関	関係中学校
	企画立案	●	●			●
	合同説明会参加（県外）	●	●	●	●	●
	合同バスツアー開催	●	●	●	●	●
広報・PR	●	●	●	●	●	
E 関連プロジェクト						



『チーム島根』による合同高校説明会 IN 東京

■ 実行プラン⑨【矢上高校卒業生会との連携】

⑨-1 高校卒業生会と連携した生徒募集活動

A 取組内容	目的	○ 生徒募集								
	内容	㊦ 矢上高校の魅力を広く発信するために卒業生会と連携し積極的なPR活動を展開します。								
B 1年目から取り組むべき事項	取組事項	㊦ 卒業生会と連携したPR活動の推進			状況	既存		実施主体	矢上高校・邑南町・関係機関	
	取組事項	—			状況	—		実施主体	—	
D 実施項目と役割分担	実施項目	連携に関わる機関								
		矢上高校	邑南町	住民	関係機関	関係中学校	島根県など			
		企画立案	●	●						
		卒業生会と連携したPR活動の推進	●	●	●	●	●	●		
	広報・PR	●	●	●	●	●	●	●		
E 関連プロジェクト										

⑨-2 県外における単独高校説明会開催検討

A 取組内容	目的	○ 生徒募集								
	内容	㊦ 卒業生会（東京支部、関西支部、広島支部）の協力を得ながら県外における矢上高校単独での学校説明会の開催を検討します。								
B 1年目から取り組むべき事項	取組事項	㊦ 卒業生会と連携した単独高校説明会開催検討			状況	新規		実施主体	矢上高校・邑南町・住民 関係機関、関係中学校	
	取組事項	—			状況	—		実施主体	—	
D 実施項目と役割分担	実施項目	連携に関わる機関								
		矢上高校	邑南町	住民	関係機関	関係中学校	島根県など			
		企画立案	●	●						
		卒業生会と連携した単独高校説明会開催検討	●	●	●	●	●	●	●	
	広報・PR	●	●	●	●	●	●	●		
E 関連プロジェクト										

■ 実行プラン⑩【寄宿舍環境の充実】

⑩-1 寄宿舍環境整備							
A 取組内容	目的	○ 学習環境の充実、生徒確保					
	内容	㊦ 寄宿舍1部屋2人～3人制について検討します。 ㊧ 生徒が安全安心に寄宿舍生活を送れるよう、学習環境や生活環境を整備します。					
B 1年目から取り組むべき事項	取組事項			状況	実施主体		
	㊦ 寄宿舍1部屋2人～3人制を検討			新規	矢上高校・島根県		
㊧ 寄宿舍環境の整備等			既存	矢上高校・島根県			
C 2年目以降に取り組む事項	—			—	—		
D 実施項目と役割分担	実施項目	連携に関わる機関					
		矢上高校	邑南町	住民	関係機関	関係中学校	島根県
	企画立案	●	●				●
	寄宿舍1部屋2人～3人制検討	●					●
	寄宿舍環境整備	●	●				●
	広報・PR	●	●	●	●	●	●
D 関連プロジェクト							

⑩-2 里親制度の導入							
A 取組内容	目的	○ 県外生徒募集、県外生徒の受け入れ体制の充実					
	内容	㊦ 遠隔地からの生徒が安心して寄宿舍生活を送れるように里親制度の仕組みづくりを検討します。 ㊧ 持続可能な里親制度を立ち上げます。また、生徒が卒業後もこの地域を第2のふるさとと感じてもらえるような仕組みづくりを検討します。 ㊨ 寄宿舍生が地域活動へ参加する機会がもてるような仕組みづくりを検討します。					
B 1年目から取り組むべき事項	取組事項			状況	実施主体		
	㊦ 里親制度の検討			新規	矢上高校・邑南町		
㊧ 里親制度の立ち上げ			新規	矢上高校・邑南町			
C 2年目以降に取り組む事項	㊨ 寄宿舍生が地域活動へ参加する仕組みづくりの検討			新規	矢上高校・邑南町		
D 実施項目と役割分担	実施項目	連携に関わる機関					
		矢上高校	邑南町	住民	関係機関	関係中学校	島根県
	企画立案	●	●	●			
	里親制度の検討	●	●	●			
	里親制度立ち上げ	●	●	●	●		
	寄宿舍生の地域活動への参加の仕組みづくり	●	●	●	●	●	
広報・PR	●	●	●	●	●	●	
D 関連プロジェクト							

■ 実行プラン⑪【保護者の経済的負担軽減】

⑪-1 通学バス補助金制度の充実

A 取組内容	目的	○ 生徒募集					
	内容	㊦ 通学バス補助金制度を充実させ、生徒や保護者の経済的負担を軽減します。					
B 1年目から取り組むべき事項	取組事項	状況			実施主体		
	㊦ 通学バス補助金制度の充実	既存			矢上高校・邑南町・関係機関		
C 2年目以降に取り組む事項	—	—			—		
D 実施項目と役割分担	実施項目	連携に関わる機関					
		矢上高校	邑南町	住民	関係機関	関係中学校	島根県など
		企画立案	●	●			
		通学バス補助金制度の充実	●	●			
E 関連プロジェクト	広報・PR	●	●	●	●	●	

■ 実行プラン⑫【通学利便性向上】

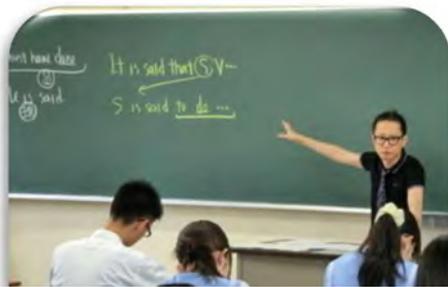
⑫-1 町内各地域からの通学利便性向上						
A 取組内容	目的	○ 通学利便性の向上、高校の魅力向上				
	内容	㊦ 町内からの通学バス新規路線導入の検討や既存路線ダイヤや便数の見直しの検討を行います。				
B 1年目から取り組むべき事項	取組事項	㊦ 町内通学バスの利便性の向上			状況	実施主体
					既存	邑南町
C 2年目以降に取り組む事項		—			—	—
D 実施項目と役割分担	実施項目	連携に関わる機関				
		矢上高校	邑南町	住民	関係機関	関係中学校
	企画立案	●	●			
	通学バス新規路線導入の検討や既存路線ダイヤや便数の見直し検討	●	●			●
	広報・PR	●	●	●	●	●
E 関連プロジェクト						

⑫-2 隣接市町からの通学利便性向上						
A 取組内容	目的	○ 通学利便性の向上、高校の魅力向上				
	内容	㊦ 隣接市町からの通学バス新規路線導入の検討や既存路線ダイヤや便数の見直しの検討を行います。				
B 1年目から取り組むべき事項	取組事項	㊦ 隣接市町からの通学バス利便性向上			状況	実施主体
					既存	邑南町
C 2年目以降に取り組む事項		—			—	—
D 実施項目と役割分担	実施項目	連携に関わる機関				
		矢上高校	邑南町	住民	関係機関	関係中学校
	企画立案	●	●			
	通学バス新規路線導入の検討や既存路線ダイヤや便数の見直し検討	●	●			●
	広報・PR	●	●	●	●	●
E 関連プロジェクト						

■ 実行プラン⑬【普通科学力向上】

⑬-1 習熟度別少人数指導・個人添削実施

A 取組内容	目的	○ 普通科学力向上、高校の魅力向上				
	内容	㊦ 生徒一人ひとりにあったきめ細やかな指導により、難関大学をはじめ国公立大学の合格者数を増やします。				
B 1年目から取り組むべき事項	取組事項	状況	実施主体			
	㊦ 習熟度別少人数指導や個人添削の実施	既存	矢上高校			
C 2年目以降に取り組む事項	—	—	—			
D 実施項目と役割分担	実施項目	連携に関わる機関				
		矢上高校	邑南町	住民	関係機関	関係中学校
	企画立案	●				
	習熟度別少人数指導や個人添削の実施	●				
	広報・PR	●				
E 関連プロジェクト						



有名塾講師による派遣授業



習熟度別少人数指導

⑬-2 河合塾講師による出前授業

A 取組内容	目的	○ 普通科学力向上、高校の魅力向上				
	内容	㊦ 河合塾講師による出前授業を充実させ英語や数学の学力向上を目指します。				
B 1年目から取り組むべき事項	取組事項	状況	実施主体			
	㊦ 河合塾講師派遣による英語や数学の出前授業充実	既存	矢上高校			
C 2年目以降に取り組む事項	—	—	—			
D 実施項目と役割分担	実施項目	連携に関わる機関				
		矢上高校	邑南町	住民	関係機関	関係中学校
	企画立案	●				
	英語・数学出前授業充実	●	●			
	広報・PR	●	●	●		
E 関連プロジェクト						

⑬-3 教員の授業力の向上								
A 取組内容	目的	○ 普通科学力向上、高校の魅力向上						
	内容	㊦ 教員の授業力を向上させるため先進校視察、校外研修会、中学校への出前授業を積極的に実施します。						
B 1年目から取り組むべき事項	取組事項	㊦ 教員による先進校視察、校外研修会、中学校への出前授業の実施			状況	既存	実施主体	矢上高校
	2年目以降に取り組む事項	—			—	—	—	—
D 実施項目と役割分担	実施項目	連携に関わる機関						
		矢上高校	邑南町	住民	関係機関	関係中学校	島根県	
		企画立案	●	●				
		教員の先進校視察、校外研修会、中学校への出前授業の実施	●				●	
広報・PR	●							
E 関連プロジェクト								

⑬-4 言語力の向上								
A 取組内容	目的	○ 普通科学力向上、高校の魅力向上						
	内容	㊦ 図書館を活用した授業（調べ学習）の推進や読書活動の推進、定期的な朝礼時における小論文学習などを推進します。						
B 1年目から取り組むべき事項	取組事項	㊦ 図書館を活用した授業、定期的な小論文学習の推進			状況	既存	実施主体	矢上高校
	2年目以降に取り組む事項	—			—	—	—	—
D 実施項目と役割分担	実施項目	連携に関わる機関						
		矢上高校	邑南町	住民	関係機関	関係中学校	島根県	
		企画立案	●					
		図書館を活用した授業、定期的な小論文学習の推進	●					
広報・PR	●							
E 関連プロジェクト								

■ 実行プラン⑭【特色ある教育の推進】

⑭-1 町観光協会等との連携

A 取組内容	目的	○ 高校の魅力向上						
	内容	㉞ 町観光協会や食の学校と連携し、「食の縁結び甲子園」の出場を目指します。						
B 1年目から取り組むべき事項	取組事項	状況			実施主体			
	㉞ 「食の縁結び甲子園」出場を目指す	新規			矢上高校・邑南町関係機関			
C 2年目以降に取り組む事項	—	—			—			
D 実施項目と役割分担	実施項目	連携に関わる機関						
		矢上高校	邑南町	住民	関係機関	関係中学校	島根県	
		企画立案	●	●		●		
		「食の縁結び甲子園」出場を目指す	●	●		●		
	広報・PR	●	●		●			
E 関連プロジェクト								

⑭-2 地域福祉のマインドをもった人材育成

A 取組内容	目的	○ 高校の魅力向上						
	内容	㉞ 町の福祉施設と連携した施設研修を実施し、将来にわたり地域福祉を支える人材を育成します。 ㉟ 連携福祉施設の募集を実施します。 ㊱ 石見養護学校との交流学习を実施します。						
B 1年目から取り組むべき事項	取組事項	状況			実施主体			
	㉞ 地域福祉施設との連携した人材育成プログラムの作成と検討	新規			矢上高校・邑南町関係機関			
	㉟ 石見養護学校との交流学习の実施	既存			矢上高校・関係機関			
C 2年目以降に取り組む事項	㉟ 連携福祉施設の募集	新規			矢上高校・邑南町関係機関			
D 実施項目と役割分担	実施項目	連携に関わる機関						
		矢上高校	邑南町	住民	関係機関	関係中学校	島根県	
		企画立案	●	●		●		
		仕組みづくりの研究	●	●		●		
		連携福祉施設の募集	●	●		●		
		石見養護学校との交流学习	●			●		
	広報・PR	●	●	●	●			
E 関連プロジェクト								

⑭-3 『おおなん学』の推進（未来フォーラム開催）

A 取組内容	目的	○ 高校の魅力向上					
	内容	㊦ 既に実施している地域課題解決型プロジェクト「矢上高校生が語る未来フォーラム」を実施します。 ㊧ ふるさとの伝統・文化等を知り、継承・発展させる態度を育成します。また、ふるさとの良さを日本や世界に発信します。					
B 1年目から取り組むべき事項	取組事項	状況	実施主体				
	㊦ 「矢上高校生が語る未来フォーラム」の開催	既存	矢上高校・邑南町				
C 2年目以降に取り組む事項	㊧ ふるさと伝統・文化の継承者育成とふるさとの良さを日本や世界へ発信	新規	矢上高校・邑南町・住民関係機関				
D 実施項目と役割分担	実施項目	連携に関わる機関					
		矢上高校	邑南町	住民	関係機関	関係中学校	島根県
		企画立案	●	●		●	
		未来フォーラムの開催	●	●	●	●	●
		おおなん学の継承者育成と日本や世界への発信	●	●	●	●	●
		広報・PR	●	●	●	●	●
E 関連プロジェクト							



『矢上高校生が語る未来フォーラム』発表の様子



『矢上高校生が語る未来フォーラム』講評

■ 実行プラン⑮【産業技術科 時代に対応した教育の充実】

⑮-1 移動矢高ショップの開催

A 取組内容	目的	○ 高校の魅力向上				
	内容	㊦ 起業家精神を養うため、移動矢高ショップを開催します。				
B 1年目から取り組むべき事項	取組事項	状況	実施主体			
	㊦ 移動矢高ショップの開催	既存	矢上高校			
C 2年目以降に取り組む事項	—	—	—			
D 実施項目と役割分担	実施項目	連携に関わる機関				
		矢上高校	邑南町	住民	関係機関	関係中学校
	企画立案	●	●			
	移動矢高ショップの開催	●	●	●	●	●
	広報・PR	●	●	●	●	
E 関連プロジェクト						



移動矢高ショップ開催（口羽公民館）



移動矢高ショップ開催（あいタウンアベル）

⑮-2 農林大学校との交流促進

A 取組内容	目的	○ 産業技術科の魅力向上、進学率の向上				
	内容	㊦ 農林大学校での1泊2日の研修合宿を検討します。				
B 1年目から取り組むべき事項	取組事項	状況			実施主体	
	㊦ 農林大学校での1泊2日の研修合宿実施検討	新規			矢上高校	
C 2年目以降に取り組む事項	-			-		
D 実施項目と役割分担	実施項目	連携に関わる機関				
		矢上高校	邑南町	住民	関係機関	関係中学校
	企画立案	●	●			
	農林大学校での1泊2日の研修合宿実施検討	●	●		●	
広報・PR	●	●		●		●
E 関連プロジェクト						

⑮-3 課題研究・発表・論文作成の実施

A 取組内容	目的	○ 産業技術科の魅力向上、進学率の向上				
	内容	㊦ 一人ひとりの興味に合わせて体験的に学習を進め、課題研究・発表・論文作成を実施することで、社会に貢献できる自立した人材育成に努めます。				
B 1年目から取り組むべき事項	取組事項	状況			実施主体	
	㊦ 課題研究・発表・論文作成の実施を通しての人材育成	既存			矢上高校	
C 2年目以降に取り組む事項	-			-		
D 実施項目と役割分担	実施項目	連携に関わる機関				
		矢上高校	邑南町	住民	関係機関	関係中学校
	企画立案	●	●		●	
	課題研究・発表・論文作成の実施を通しての人材育成	●	●		●	
広報・PR	●	●	●	●	●	●
E 関連プロジェクト						

■ 実行プラン⑩【産業技術科 町の地域資源の活用】

⑩-1 町観光協会等との連携

A 取組内容	目的	○ スイーツ甲子園への出場						
	内容	㊦ 邑南町観光協会・食の学校と連携して「スイーツ甲子園」の出場を目指します。						
B 1年目から取り組むべき事項	取組事項	㊦ 「スイーツ甲子園」出場			状況	既存	実施主体	矢上高校・邑南町関係機関
C 2年目以降に取り組む事項		—			—	—	—	—
D 実施項目と役割分担	実施項目	連携に関わる機関						
		矢上高校	邑南町	住民	関係機関	関係中学校	島根県	
		企画立案	●	●		●		
		「スイーツ甲子園」出場	●	●		●		
	広報・PR	●	●	●	●	●	●	
E 関連プロジェクト								

⑩-2 菓子製造室の活用

A 取組内容	目的	○ 産業技術科の魅力向上						
	内容	㊦ 町観光協会と共同開発したスイーツ等を菓子製造室で製造し販売します。						
B 1年目から取り組むべき事項	取組事項	㊦ 菓子製造室でスイーツ等の製造と販売			状況	新規	実施主体	矢上高校・邑南町関係機関
C 2年目以降に取り組む事項		—			—	—	—	—
D 実施項目と役割分担	実施項目	連携に関わる機関						
		矢上高校	邑南町	住民	関係機関	関係中学校	島根県	
		企画立案	●	●		●		
		スイーツ等の製造	●	●		●		
		スイーツ等の販売	●	●	●	●		
	広報・PR	●	●	●	●	●	●	
E 関連プロジェクト								

⑩-3 地域資源を活用した商品開発

A 取組内容	目的	○ 産業技術科の魅力化向上					
	内容	㊦ 町観光協会や食の学校と連携し、邑南地域ならではの素材を用いた個性ある商品開発を検討します。					
B 1年目から取り組むべき事項	取組事項	㊦ 町観光協会と連携した商品開発検討		状況	既存	実施主体	矢上高校・邑南町関係機関
	取組事項	—		—	—	—	—
D 実施項目と役割分担	実施項目	連携に関わる機関					
		矢上高校	邑南町	住民	関係機関	関係中学校	島根県
	企画立案	●	●		●		
	商品開発について検討	●	●	●	●		
広報・PR	●	●	●	●	●	●	
E 関連プロジェクト							



2013スイーツ甲子園出場



2014スイーツ甲子園出場



食の学校との連携

■ 実行プラン⑱【普通科と産業技術科の協奏】

⑱-1 普通科、産業技術科の特色化							
A 取組内容	目的	○ 高校魅力化					
	内容	㊦ 生徒たちが、それぞれの科での学びを深めると同時に二つの科がある魅力やメリットを体感し、豊かな学校生活を共に奏でることができる実行プランを検討します。					
B 1年目から取り組むべき事項	取組事項			状況	実施主体		
	㊦ 普通科、産業技術科それぞれの特色を活かした総合的な実行プランの検討			既存	矢上高校・邑南町		
C 2年目以降に取り組む事項	—			—	—		
D 実施項目と役割分担	実施項目 企画立案	連携に関わる機関					
		矢上高校	邑南町	住民	関係機関	関係中学校	島根県
		企画立案	●	●			
		普通科・産業技術科の協奏 実行プランの検討	●	●	●		
広報・PR	●	●	●	●	●	●	
E 関連プロジェクト							

⑱-2 進路志望の実現							
A 取組内容	目的	○ 高校魅力化					
	内容	㊦ 高校3年間を見通した進路実現プログラムを作成し実践します。					
B 1年目から取り組むべき事項	取組事項			状況	実施主体		
	㊦ 高校3年間を見通した進路実現プログラムの作成			新規	矢上高校		
C 2年目以降に取り組む事項	—			—	—		
D 実施項目と役割分担	実施項目	連携に関わる機関					
		矢上高校	邑南町	住民	関係機関	関係中学校	島根県
		企画立案	●	●	●		
		高校3年間を見通した進路実現プログラムの作成	●	●			
広報・PR	●	●	●	●	●	●	
E 関連プロジェクト							

⑰-3 キャリア教育の推進

A 取組内容	目的	○ 高校の魅力化					
	内容	㉗ 卒業生による社会人講話会や大学生講話会を開催します。 ㉘ 邑智病院、役場、矢上小学校研修を実施します。 ㉙ 町内企業等と連携しインターンシップフェアを開催します。 ㉚ 大学視察研修や企業見学研修（1泊2日）を実施します。 ㉛ 小学校合宿へ参加します。 ㉜ 矢上駅の看板を作成します。					
B 1年目から取り組むべき事項	取組事項	状況	実施主体				
	㉗ 卒業生社会人講話会、大学生講話会の開催	既存	矢上高校・邑南町				
	㉘ 邑智病院、役場、矢上小学校研修の実施	既存	矢上高校・邑南町				
	㉙ 町内企業等と連携したインターンシップフェアの開催	既存	矢上高校・邑南町				
	㉚ 大学視察研修や企業見学研修の実施	既存	矢上高校				
	㉛ 小学校合宿への参加	既存	矢上高校				
C 2年目以降に取り組む事項	取組事項	—	—				
	取組事項	—	—				
D 実施項目と役割分担	実施項目	連携に関わる機関					
		矢上高校	邑南町	住民	関係機関	関係小中学校	島根県
	企画立案	●	●		●		
	卒業生社会人講話会、大学生講話会の開催	●	●	●	●		
	邑智病院、役場、矢上小学校研修の実施	●	●		●		
	町内企業等と連携したインターンシップフェアの開催	●	●		●		
	大学視察研修や企業見学研修の実施	●	●		●		
	小学校合宿への参加	●	●		●	●	
	矢上駅看板の作成	●	●	●			●
広報・PR	●	●	●	●	●	●	
E 関連プロジェクト							



公立邑智病院研修（救急外来体験）



公立邑智病院研修（産婦人科体験）

⑰-4 科目「生活と福祉」の導入

A 取組内容	目的	○ 高校の魅力化					
	内容	㊦ 生徒の福祉への興味・関心を高めることや職業観を養うために科目「生活と福祉」を導入します。					
B 1年目から取り組むべき事項	取組事項	㊦ 科目「生活と福祉」の導入			状況	実施主体	
C 2年目以降に取り組む事項		—			—	—	
D 実施項目と役割分担	実施項目	連携に関わる機関					
		矢上高校	邑南町	住民	関係機関	関係中学校	島根県
	企画立案	●	●		●		
	科目「生活と福祉」の導入	●			●		
E 関連プロジェクト	広報・PR	●	●	●	●		



福祉施設入居者とのプランター植栽を通しての交流

■ 実行プラン⑱【生徒力の育成】

⑱-1 部活動の活性化							
A 取組内容	目的	○ 部活動の活性化、高校魅力化					
	内容	㉞ 著名選手の実技指導を実施します。 ㉟ 地域に根ざした部活動を推進するため地域関連団体との連携を深めます。 ㊱ 外部コーチの招致を検討します。 ㊲ 小中高連携した部活動の仕組みづくりを検討します。 ㊳ スキー部創設を検討します。					
B 1年目から取り組むべき事項	取組事項	状況	実施主体				
	㉞ 著名選手の実技指導実施	既存	矢上高校				
	㉟ 地域に根ざした部活動の推進（地域関連団体との連携）	既存	矢上高校・邑南町住民・関係機関				
	㊱ 外部コーチの招致検討	既存	矢上高校				
	㊲ 小中高連携した部活動の仕組みづくりの検討	既存	矢上高校・邑南町				
	㊳ スキー部創設検討	新規	矢上高校				
C 2年目以降に取り組む事項	—	—	—				
D 実施項目と役割分担	実施項目	連携に関わる機関					
		矢上高校	邑南町	住民	関係機関	関係小中学校	島根県
	企画立案	●	●	●	●		
	著名選手実技指導実施	●	●		●		
	部活動における地域団体との連携	●	●	●	●	●	
	外部コーチ招致検討	●	●				
	小中高連携した部活動の仕組みづくり検討	●	●			●	
	スキー部創設検討	●	●		●		
	広報・PR	●	●	●	●	●	●
E 関連プロジェクト							



⑱-2 豊かな心の育成

A 取組内容	目的	○ 高校魅力化					
	内容	㉞ 基本的な生活習慣を確立させます。 ㉟ 人権・同和教育を推進します。 ㊱ ボランティア活動に積極的に参加します。 ㊲ いじめ・不登校等に対するプロジェクト委員会を開催します。 ㊳ 元気なあいさつを推進します。					
B 1年目から取り組むべき事項	取組事項		状況	実施主体			
	㉞ 基本的な生活習慣の確立		既存	矢上高校			
	㉟ 人権・同和教育の推進		既存	矢上高校			
	㊱ ボランティア活動への積極的参加		既存	矢上高校			
	㊲ いじめ・不登校等に対するプロジェクト委員会開催		既存	矢上高校			
㊳ 元気なあいさつ推進		既存	矢上高校				
C 2年目以降に取り組む事項	—		—	—			
D 実施項目と役割分担	実施項目	連携に関わる機関					
		矢上高校	邑南町	住民	関係機関	関係中学校	島根県
	企画立案	●	●				
	基本的な生活習慣の確立	●	●	●	●		●
	人権・同和教育の推進	●	●	●	●		●
	ボランティア活動への積極的参加	●	●	●	●		●
	いじめ・不登校等に対するプロジェクト委員会開催	●	●	●	●	●	●
	元気なあいさつ推進	●	●	●	●	●	●
広報・PR	●	●	●	●	●	●	
E 関連プロジェクト							

■ 実行プラン⑱【教師力の育成】

⑱-1 教員の専門性向上

A 取組内容	目的	○ 高校魅力化						
	内容	㉞ 公開授業月間・互見授業、研究授業等のシステムの導入をします。 ㉟ 参加型校内研修を実施します。 ㊱ 先進事例を推進している高校や地域への視察などを行います。 ㊲ 中学校出前授業（英・数）を実施します。						
B 1年目から取り組むべき事項		取組事項	状況	実施主体				
		㉞ 公開授業月間等の導入	既存	矢上高校				
		㉟ 参加型校内研修の実施	既存	矢上高校				
		㊱ 先進地視察の実施	既存	矢上高校				
		㊲ 中学校出前授業（英・数）の実施	既存	矢上高校				
C 2年目以降に取り組む事項		—	—	—				
D 実施項目と役割分担			連携に関わる機関					
		実施項目	矢上高校	邑南町	住民	関係機関	関係中学校	島根県
		企画立案	●	●		●		
		公開授業月間等の導入	●	●				
		参加型校内研修の実施	●					
		先進地視察の実施	●		●	●		
		中学校出前授業（英・数）の実施	●				●	
	広報・PR	●	●	●	●	●	●	
E 関連プロジェクト								

■ 実行プラン⑳【町の施策との一体化】 箇所

⑳-1 邑南町との連携								
A 取組内容	目的	○ 人材育成、魅力ある学校づくり						
	内容	㊦ 矢上高校の魅力化・活性化事業を推進するため邑南町の主要施策である「日本一の子育て村構想」や「A級グルメ構想」の理念を意識した学校づくりに努めます。						
B 1年目から取り組むべき事項	取組事項	㊦ 「日本一の子育て村構想」や「A級グルメ構想」の理念を意識した学校づくりの検討			状況	既存	実施主体	矢上高校・邑南町
	2年目以降に取り組む事項	—			—	—	—	—
D 実施項目と役割分担	実施項目	連携に関わる機関						
		矢上高校	邑南町	住民	関係機関	関係中学校	島根県	
		企画立案	●	●	●	●		
		邑南町の施策との一体化した学校づくり企画検討	●	●	●	●		
広報・PR	●	●	●	●	●	●		
E 関連プロジェクト								

⑳-2 邑南町教育委員会との連携								
A 取組内容	目的	○ 人材育成、魅力ある学校づくり						
	内容	㊦ 小中高連携を一層強化して、教職員間の関係づくりに加え、地域学習や部活動等を通して児童生徒間交流を推進します。 ㊧ 邑南町のふるさと学習やキャリア教育の一貫性を構築していきます。						
B 1年目から取り組むべき事項	取組事項	㊦ 小中高連携の仕組みづくりプログラム作成検討			状況	既存	実施主体	矢上高校・邑南町
	2年目以降に取り組む事項	㊧ 邑南町のふるさと学習やキャリア教育の一貫性の構築			既存	矢上高校・邑南町		
D 実施項目と役割分担	実施項目	連携に関わる機関						
		矢上高校	邑南町	住民	関係機関	関係中学校	島根県	
		企画立案	●	●		●	●	
		小中高連携の仕組みづくりプログラム作成検討	●	●	●	●	●	
		邑南町のふるさと学習やキャリア教育の一貫性の構築（「おおなんドリーム学びのつどい」への参加）	●	●	●	●	●	
広報・PR	●	●	●	●	●	●		
E 関連プロジェクト								

■ 実行プラン①【大学・専門機関との連携】

①-1 高等教育機関との連携の検討

A 取組内容	目的	○ 人材育成、希望する進路実現、魅力ある学校づくり								
	内容	⑦ 島根大学、島根県立大学、広島大学、農林大学校等の高等教育機関と連携して、矢上高校魅力化・活性化に関するプログラムの開発や助言、各種イベント事業について検討します。								
B 1年目から取り組むべき事項	取組事項	⑦ 島根大学、島根県立大学、広島大学、農林大学校等の高等教育機関との連携プログラムの検討			状況	新規		実施主体	矢上高校・邑南町	
	取組事項	—			状況	—		実施主体	—	
D 実施項目と役割分担	実施項目	連携に関わる機関								
		矢上高校	邑南町	住民	関係機関	関係小中学校	島根県			
		企画立案	●	●						
		島根大学、島根県立大学、広島大学、農林大学校等の高等教育機関との連携プログラムの検討	●	●				●		
広報・PR	●	●	●	●		●				
E 関連プロジェクト										

①-2 行政機関との連携の検討

A 取組内容	目的	○ 人材育成、希望する進路実現、魅力ある学校づくり								
	内容	⑦ 江津家畜保健衛生所との交流を深め、生徒の技術力を高めます。 ⑧ 島根県中山間地域研究センターとの連携を深めながら、生徒と地域と社会を結ぶ仕組みづくりプログラムを検討します。								
B 1年目から取り組むべき事項	取組事項	⑦ 江津家畜保健衛生所との交流促進。			状況	新規		実施主体	矢上高校・関係機関	
	取組事項	⑧ 島根県中山間地域研究センターとの連携プログラムの検討			状況	新規		実施主体	矢上高校・邑南町 関係機関	
C 2年目以降に取り組む事項	取組事項	—			状況	—		実施主体	—	
D 実施項目と役割分担	実施項目	連携に関わる機関								
		矢上高校	邑南町	住民	関係機関	関係小中学校	島根県			
		企画立案	●	●		●				
		江津家畜保健衛生所との交流促進	●			●		●		
		島根県中山間地域研究センターとの連携プログラム検討	●	●		●		●		
広報・PR	●	●	●	●		●				
E 関連プロジェクト										

②1-3 魅力的な企業や企業人との連携

A 取組内容	目的	○ 人材育成、希望する進路実現、魅力ある学校づくり					
	内容	㊦ 魅力的な企業や企業人との交流（「夢を育む出会い」）を通し、ふるさとを思い世界で活躍できるような能力や社会で自立していくために必要な能力を育成する機会をもちます。 ㊧ ㊦のために必要な企業と連携可能なプログラム作成を検討します。					
B 1年目から取り組むべき事項	取組事項	状況	実施主体				
	㊦ 魅力的な企業・企業人との交流会開催 ㊧ 魅力的な企業との連携プログラム検討	新規 新規	矢上高校・邑南町 邑南町				
C 2年目以降に取り組む事項	—	—	—				
D 実施項目と役割分担	実施項目	連携に関わる機関					
		矢上高校	邑南町	住民	関係機関	関係中学校	島根県
	企画立案	●	●		●		
	魅力的な企業や企業人との交流会開催	●	●		●		
	魅力的な企業との連携プログラム作成検討	●	●		●		
広報・PR	●	●	●	●			
E 関連プロジェクト							



■ 実行プラン②【多様な主体による支援】

②-1 地域・行政からの支援（総合学習センターの設置検討）

A 取組内容	目的	○ 人材育成、希望する進路実現、魅力ある学校づくり					
	内容	㊦ 矢上高校魅力化を図るために企画・実践する機能や生徒育成のための学びの機能を有する総合学習センター（仮称）の設置を検討します。					
B 1年目から取り組むべき事項	取組事項	状況	実施主体				
	㊦ 総合学習センター（仮称）の設置検討	新規	邑南町				
C 2年目以降に取り組む事項	—	—	—				
D 実施項目と役割分担	実施項目	連携に関わる機関					
		矢上高校	邑南町	住民	関係機関	関係中学校	島根県
		企画立案	●	●	●	●	●
		総合学習センター（仮称）の設置検討	●	●	●	●	●
	広報・PR	●	●	●	●	●	
E 関連プロジェクト							

②-2 関係団体からの支援

A 取組内容	目的	○ 人材育成、希望する進路実現、魅力ある学校づくり					
	内容	㊦ 矢上高校将来ビジョン策定委員会で検討された活動を推進していくために、連携して活動していく関係団体や企業を募集します。					
B 1年目から取り組むべき事項	取組事項	状況	実施主体				
	㊦ 連携して活動していく関係団体や企業の募集	新規	邑南町				
C 2年目以降に取り組む事項	—	—	—				
D 実施項目と役割分担	実施項目	連携に関わる機関					
		矢上高校	邑南町	住民	関係機関	関係中学校	島根県
		企画立案	●	●	●	●	●
		連携先関係団体や企業の募集	●	●	●	●	●
	広報・PR	●	●	●	●	●	
E 関連プロジェクト							

②-3 応援団からの支援

A 取組内容	目的	○ 人材育成、希望する進路実現、魅力ある学校づくり						
	内容	㊦ 矢上高校が更に魅力的な学校になるよう全町民から支援が得られるような仕組みづくりを検討します。						
B 1年目から取り組むべき事項	取組事項	㊦ 全町民応援団の仕組みづくり検討			状況	既存	実施主体	邑南町
	取組事項	-			状況	-	実施主体	-
D 実施項目と役割分担	実施項目	連携に関わる機関						
		矢上高校	邑南町	住民	関係機関	関係中学校	島根県	
		企画立案	●	●	●	●	●	●
		全町民応援団の仕組みづくり検討	●	●	●	●	●	●
	広報・PR	●	●	●	●	●	●	
E 関連プロジェクト								



■ 実行プラン③【think globally グローバルな視野の確保】

③-1 グローバルな視野の確保

A 取組内容	目的	○ 人材育成、魅力ある学校づくり				
	内容	⑦ 留学生の受け入れシステムを検討します。				
B 1年目から取り組むべき事項	取組事項	⑦ 留学生の受け入れシステムの検討			状況	実施主体
					新規	矢上高校
C 2年目以降に取り組む事項		—			—	—
D 実施項目と役割分担	実施項目	連携に関わる機関				
		矢上高校	邑南町	住民	関係機関	関係中学校
	企画立案	●	●			
	留学生の受け入れシステムの検討	●	●		●	
	広報・PR	●	●	●	●	●
E 関連プロジェクト						

③-2 外国語能力を有する人材育成

A 取組内容	目的	○ 人材育成、魅力ある学校づくり				
	内容	⑦ 外国語教育を充実します。 ⑧ スカipeによる多様な地域との交流を促進します。				
B 1年目から取り組むべき事項	取組事項	⑦ 外国語教育の充実			状況	実施主体
					新規	矢上高校
C 2年目以降に取り組む事項		⑧ スカipeによる多様な地域との交流促進			—	—
D 実施項目と役割分担	実施項目	連携に関わる機関				
		矢上高校	邑南町	住民	関係機関	関係中学校
	企画立案	●	●			
	外国語教育の充実	●	●		●	
	スカipeによる多様な地域との交流促進	●	●		●	
広報・PR	●	●	●	●	●	
E 関連プロジェクト						

㉓-3 研修旅行の検討（志願制）						
A 取組内容	目的	○ 人材育成、魅力ある学校づくり				
	内容	㊦ 志願制研修旅行を検討します。				
B 1年目から取り組むべき事項	取組事項	㊦ 志願制研修旅行の検討			状況	実施主体
					新規	矢上高校・邑南町
C 2年目以降に取り組む事項		—			—	—
D 実施項目と役割分担	実施項目	連携に関わる機関				
		矢上高校	邑南町	住民	関係機関	関係中学校
	企画立案	●	●			
	志願制研修旅行の検討	●	●		●	
	広報・PR	●	●	●	●	
E 関連プロジェクト						

■ 実行プラン②④【act locally 地域における実践】

②④-1 (再掲) 地域課題解決型授業 (未来フォーラム) 開催										
A 取組内容	目的	○ 人材育成、魅力ある学校づくり								
	内容	㊦ 既の実施している地域課題解決型プロジェクト「矢上高校生が語る未来フォーラム」を実施します。(再掲)								
B 1年目から取り組むべき事項	取組事項	㊦ 「矢上高校生が語る未来フォーラム」の開催			状況	既存		実施主体	矢上高校・邑南町	
	C 2年目以降に取り組む事項	—			—		—			
D 実施項目と役割分担	実施項目	連携に関わる機関								
		矢上高校	邑南町	住民	関係機関	関係中学校	島根県			
	企画立案	●	●							
	「矢上高校生が語る未来フォーラム」の開催	●	●	●	●	●	●			
広報・PR	●	●	●	●	●	●				
E 関連プロジェクト										

②④-2 地域系部活動設置促進事業への参加 (島根県)										
A 取組内容	目的	○ 人材育成、魅力ある学校づくり								
	内容	㊦ 地域系部活動設置促進事業 (島根県事業) に参加します。								
B 1年目から取り組むべき事項	取組事項	㊦ 地域系部活動設置促進事業への参加			状況	既存		実施主体	島根県・矢上高校	
	C 2年目以降に取り組む事項	—			—		—			
D 実施項目と役割分担	実施項目	連携に関わる機関								
		矢上高校	邑南町	住民	関係機関	関係中学校	島根県			
	企画立案	●	●	●			●			
	地域系部活動設置促進事業への参加	●	●	●	●	●	●			
広報・PR	●	●	●	●	●	●				
E 関連プロジェクト										

■ 先行実行プラン②⑤【拠点施設の整備】

②⑤-1 矢上高校魅力化推進センターの設置

A 取組 内容	目的	○ 矢上高校教育振興の推進に係る総括実行組織の立ち上げ					
	内容	⑦ 矢上高校魅力化推進センターの学校内設置を検討します。					
B 1年目から取り 組むべき事項	取組事項	状況			実施主体		
	⑦ 矢上高校魅力化推進センターの設置検討	新規			矢上高校・邑南町		
C 2年目以降に取り 組む事項	—			—			
D 実施項目と役割 分担	実施項目	連携に関わる機関					
		矢上 高校	邑南町	住 民	関係 機 関	関係 中 学 校	島根県
	企画立案	●	●	●			
	矢上高校魅力化推進 センターの設置検討	●	●	●			
E 関連プロジェクト							

■ 実行プラン②⑥【支援体制の整備】

②⑥-1 人材の配置（魅力化コーディネーター配置）

A 取組 内容	目的	○ 矢上高校魅力化・活性化推進のための人材配置					
	内容	⑦ 矢上高校魅力化コーディネーターを配置します。仕事は生徒確保対策や矢上高校魅力化・活性化のマネジメントを行います。また、生徒と地域や社会を結ぶ役割も果たします。					
B 1年目から取り 組むべき事項	取組事項	状況			実施主体		
	⑦ 矢上高校魅力化コーディネーターの募集	新規			邑南町		
C 2年目以降に取り 組む事項	—			—			
D 実施項目と役割 分担	実施項目	連携に関わる機関					
		矢上 高校	邑南町	住 民	関係 機 関	関係 中 学 校	島根県
	企画立案	●	●				
	矢上高校魅力化コーデ ィネーター募集	●	●	●			
	広報・PR	●	●	●	●		●
E 関連プロジェクト							

②⑥-2 地域住民との連携

A 取組内容	目的	○ 地域住民との連携						
	内容	㊦ 学校と地域との協働体制の仕組化を進めます。						
B 1年目から取り組むべき事項	取組事項	㊦ 地域住民と連携したプログラムの開発			状況	既存	実施主体	矢上高校・邑南町
	2年目以降に取り組む事項	—			—	—	—	—
D 実施項目と役割分担	実施項目	連携に関わる機関						
		矢上高校	邑南町	住民	関係機関	関係中学校	島根県	
	企画立案	●	●	●	●			
	プログラムの開発	●	●	●	●	●		
	システムづくり	●	●	●	●	●		
広報・PR	●	●	●	●	●	●		
E 関連プロジェクト								

②⑥-3 矢上高校卒業生会との連携

A 取組内容	目的	○ 矢上高校卒業生会との連携						
	内容	㊦ 矢上高校卒業生会との連携を深め、魅力ある学校づくりを実現していきます。						
B 1年目から取り組むべき事項	取組事項	㊦ 矢上高校卒業生会と連携した支援プログラムの開発			状況	既存	実施主体	矢上高校・邑南町
	2年目以降に取り組む事項	—			—	—	—	—
D 実施項目と役割分担	実施項目	連携に関わる機関						
		矢上高校	邑南町	住民	関係機関	関係中学校	島根県	
	企画立案	●	●	●	●			
	卒業生会との連携支援プログラムの開発	●	●	●	●			
	システムづくり	●	●	●	●			
広報・PR	●	●	●	●				
E 関連プロジェクト								



矢上高校卒業生会関西支部総会



矢上高校卒業生会広島支部総会

②⑥-4 教育支援

A 取組内容	目的	○ 地域住民との連携					
	内容	⑦ 矢上高校教育振興会など応援団と連携し、魅力ある学校づくりを実現していきます。					
B 1年目から取り組むべき事項	取組事項	状況	実施主体				
	⑦ 矢上高校教育振興会等と連携したプログラムの開発	既存	矢上高校・邑南町				
C 2年目以降に取り組む事項	—	—	—				
D 実施項目と役割分担	実施項目	連携に関わる機関					
		矢上高校	邑南町	住民	関係機関	関係中学校	島根県
	企画立案	●	●	●	●		
	連携プログラムの開発	●	●	●	●	●	
広報・PR	●	●	●	●	●	●	
E 関連プロジェクト							



V 矢上高校将来ビジョン実現のための実行体制と支援体制

1. 実行体制

(1) 実行組織について

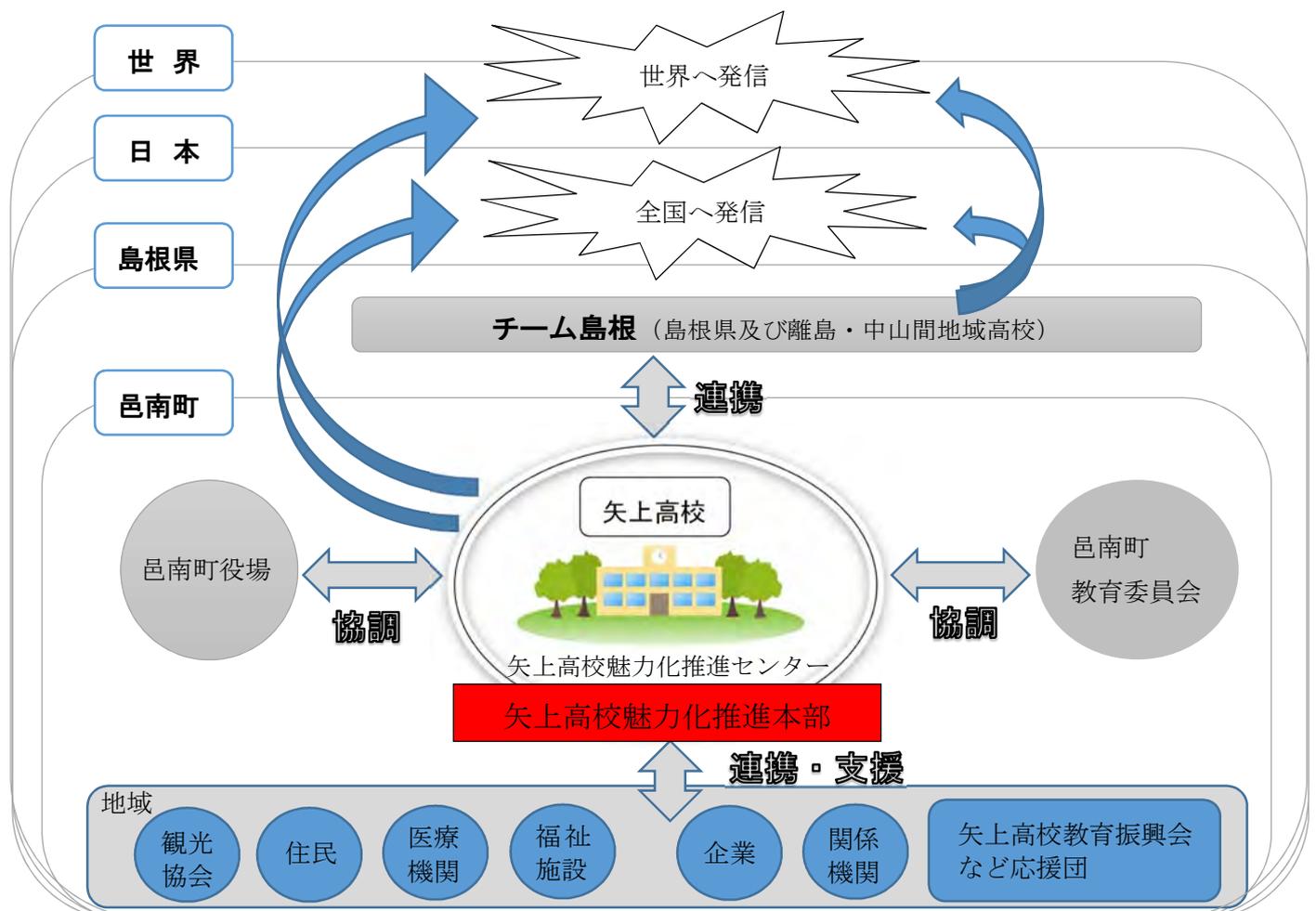
● 矢上高校魅力化推進本部の結成

矢上高校将来ビジョンを着実に実行し高校の永久存続を目指していくためには、矢上高校をはじめ邑南町、地域、関係組織等が役割分担し事業を実施するとともに必要に応じた修正や追加等を行いながら進めていくことが不可欠です。

このため「矢上高校魅力化推進本部」を組織し事業を主体的に推進していきます。事務局は矢上高校魅力化推進センターが担います。

(2) 推進方法について

● 実行体制と支援体制のイメージ図



2. 支援体制

● フォローアップについて

矢上高校将来ビジョンは、「矢上高校将来ビジョン策定委員会」で取りまとめた後、原則年1回開催される「矢上高校教育振興会」において、フォローアップします。

おわりに

この地域の未来を握っているのは、まちがいなく子どもたちです。

そんな願いから、戦後まもなく地域の人たちの労力奉仕でこの高校は誕生し、今もその建学の意思は受け継がれています。

校訓である「腕に覚えのある人間 筋金の通った人間 思いやりのある人間」は、時代が変わっても、今から生き抜くために、また地域に貢献するために欠かせない力になっています。

矢上高校は、この地域の様々な人たちとの出会いや交流を通し、地域の人たちの願いや思いを夢（エネルギー）に変え、その実現に向かい続ける人間を育てるという使命を果たしています。

矢上高校の存続は、この地域の未来であり、誇りでもあります。

このため、わたしたちは矢上高校を永遠に守っていくため平成27年度から平成31年度までの5年間を計画期間とする「矢上高校将来ビジョン」を策定しました。

この将来ビジョンには、21世紀へ向けての広範な施策事業を展開するための全体的構図が示されています。今後、本計画を着実に実現していくため、邑南町をはじめ関係団体との連携・協働を一層深めながら、矢上高校の教育力の向上に努めてまいります。どうか、皆様の御理解と御協力そして教育活動への積極的な参画をお願い申し上げます。

最後になりましたが、「矢上高校将来ビジョン」の策定にご尽力いただきました「矢上高校将来ビジョン策定委員会」委員の皆様をはじめ学校関係者、関連活動団体、関係行政機関の皆様には厚くお礼申し上げます。



参考資料

1. 矢上高校将来ビジョン策定委員会設置要綱 … 57
2. 矢上高校将来ビジョン策定委員会委員名簿 … 58
3. 矢上高校将来ビジョン策定委員会策定経緯 … 59

矢上高校将来ビジョン策定委員会設置要綱

(趣旨)

第1条 島根県立矢上高等学校「以下「矢上高校」という。）の将来を展望した教育のあり方を総合的に検討し、方向性を示すため矢上高校将来ビジョン策定委員会（以下「策定委員会」）を設置する。

(所掌事項)

第2条 策定委員会が所掌する事務は、次のとおりとする

- (1) 矢上高校将来ビジョンを策定すること。
- (2) 前号に定めるもののほか、前条の目的達成に必要な事項。

(組織)

第3条 策定委員会の委員は、委員20人以内をもって組織する。

- (1) 邑南町長
- (2) 識見を有する者
- (3) 邑南町教育長
- (4) 矢上高校卒業生会会長
- (5) 矢上高校PTAが推薦する者
- (6) 矢上高校校長及び教員
- (7) 行政関係者
- (8) その他町長が必要と認める者

2 策定委員会にアドバイザーを置くことができる。

(任期)

第4条 委員の任期は、委嘱の日から平成27年3月31日までとする。

2 委員が欠けた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第5条 策定委員会に委員長及び副委員長を置く。

- 2 委員長は、識見を有する者を充て、会務を総理し、委員会を代表する。
- 3 副委員長は、委員の中から委員長が指名する。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときはその職務を代理する。

(会議)

第6条 策定委員会（以下「会議」という。）は委員長が招集し、委員長が議長となる。

- 2 委員長は、会議において必要と認めるときは、関係者の出席を求め、意見を聞くことができる。
- 3 策定委員会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(事務局)

第7条 策定委員会の事務局は、邑南町定住促進課に置く。

(委任)

第8条 この要綱に定めるもののほか、策定委員会に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

附 則

この要綱は、平成26年10月1日から施行する。

矢上高校将来ビジョン策定委員会委員名簿

	氏 名	所 属
1	作野広和 (さくの ひろかず)	島根大学教育学部教授
2	石橋良治 (いしばし りょうじ)	邑南町長
3	土居達也 (どい たつや)	邑南町教育長
4	三宅正隆 (みやけ まさたか)	矢上高校卒業生会会長
5	大賀 定 (おおが さだむ)	矢上高校 PTA 副会長
6	伊達 一樹 (だて かずき)	桃源の家所長
7	花房美香 (はなぶさ みか)	香木の森公園ガーデンプロデューサー
8	山本友紀 (やまもと ゆき)	美郷町地域おこし協力隊
9	足立芳樹 (あだち よしき)	矢上高校校長
10	渡邊宏志 (わたなべ ひろし)	矢上高校教頭
11	唐島一將 (からしま かずまさ)	矢上高校産業技術科科長
12	駒川一彦 (こまがわ かずひこ)	矢上高校総務部長
13	木村文明 (きむら ふみあき)	矢上高校魅力化部長
14	日高 始 (ひだか はじめ)	邑南町商工観光課長
15	植田弘和 (うえた ひろかず)	邑南町農林振興課長
16	原 修 (はら おさむ)	邑南町定住促進課長
17	口羽正彦 (くちば まさひこ)	邑南町定住促進課長補佐

矢上高校将来ビジョン策定の経緯

年月	矢上高校将来ビジョン策定委員会	議事事項等
平成26年度	8月 矢上高校将来ビジョン策定委員会 準備会 【8/25】 邑南町役場第1会議室	<ul style="list-style-type: none"> 矢上高校将来ビジョン策定委員会設置要綱 委員紹介 矢上高校の現状と課題説明 今後の策定委員会の進め方 矢上高校運営委員会、職員会議で報告
	9月	<ul style="list-style-type: none"> 委員辞令交付 委員長、副委員長決定 矢上高校将来ビジョンの説明 矢上高校の現状と課題説明 意見交換会
10月	第1回矢上高校将来ビジョン策定委員会 【10/1】 邑南町役場大会議室	<ul style="list-style-type: none"> 矢上高校運営委員会、職員会議で審議
11月	第2回矢上高校将来ビジョン策定委員会 【11/10】 矢上高校	<ul style="list-style-type: none"> 産業技術科見学 普通科及び学校内見学 将来ビジョンの具体的な事業や取組項目の洗い出し 将来ビジョンの計画期間決定【5年間】 分科会開催決定
	第2分科会【11/27】矢上高校	<ul style="list-style-type: none"> 矢上高校生徒との意見交換会開催
	第1分科会【11/28】邑南町役場 第3分科会【11/28】邑南町役場	<ul style="list-style-type: none"> 矢上高校運営委員会、職員会議で審議
	第2分科会【議題：教育内容や方法の充実について】 第1分科会【議題：教育内容や方法の充実について】 第3分科会【議題：入学者の安定的な確保について】	
12月	第3回矢上高校将来ビジョン策定委員会 【12/8】 矢上交流センター	<ul style="list-style-type: none"> 各分科会報告 将来ビジョンの具体的な事業や取組項目の洗い出し
1月	第4回矢上高校将来ビジョン策定委員会 【1/26】邑南町役場	<ul style="list-style-type: none"> 矢上高校運営委員会、職員会議で審議 矢上高校将来ビジョン案内容精査
2月	矢上高校将来ビジョンパブリックコメント【2/28】矢上交流センター	<ul style="list-style-type: none"> 矢上高校運営委員会、職員会議で審議
3月	第5回矢上高校将来ビジョン策定委員会 【3/2】邑南町役場	<ul style="list-style-type: none"> 矢上高校将来ビジョン最終審査

矢上高校将来ビジョン策定委員会事務局

邑南町役場定住促進課

〒696-0192

島根県邑智郡邑南町矢上6000番地

電話(0855)95-1117

【平成27年3月作成】